

令和6年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業

高等職業訓練促進給付金等事業の効果的な活用の在り方に関する調査研究

# ITを活用した仕事やIT資格に 関心のあるひとり親の方へ

令和7(2025)年3月

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。  
本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。



## 目次

1. これだけは知っておきたい3つのポイント .....	3
2. 資格を決める前に、目標を立てる .....	4
3. ITを活用する仕事の中身を知る .....	5
(1) そもそも「IT企業」「IT業界」とは .....	5
(2) IT以外の業界にもある、ITを活用する仕事 .....	6
(3) 人材の需要動向 .....	7
(4) 仕事の具体例 .....	8
4. 未経験者の採用可能性と仕事への適性 .....	15
(1) 未経験者でも採用されるのか .....	15
(2) 採用で資格よりも重視されること .....	16
(3) 地域や年齢によっては就職チャンスが少ない .....	17
(4) 仕事への適性も重要 .....	18
5. 気になるワード「テレワーク」と「フリーランス」 .....	20
(1) テレワークのよくある誤解 .....	20
(2) フリーランスの実際 .....	21
6. 取得するIT資格を考える .....	22
(1) IT資格を取得する意義 .....	22
(2) 就職活動に役立つIT資格の例 .....	23
(3) 高等職業訓練促進給付金の対象になる資格 .....	32
(4) 学習体制を確保する .....	34
7. ITを使って活躍するひとり親の事例 .....	35
参考 .....	48

## <注意>

※この資料は、これから初めて IT を活用した仕事にチャレンジするひとり親の方を主な対象としています。なお、この資料は、令和 6 年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業「高等職業訓練促進給付金等事業の効果的な活用の在り方に関する調査研究」（以下「本調査」という）の成果物として作成しました。

※「IT」とは、インフォメーション・テクノロジー（情報技術）の略で、パソコン、スマートフォン、メール、インターネットなどの技術の総称です。この資料において、「IT を活用した仕事」とは、IT エンジニアのような高度な IT 技術を必要とする仕事だけでなく、基礎レベルの IT 技術を要する仕事（パソコンの表計算ソフトを使った事務や SNS を活用したマーケティングなど）も含まれます。

※この資料における「ヒアリング調査」とは、本調査の中で実施した、関係者（ひとり親を雇用する IT 企業、当事者、有識者等）へのヒアリング調査を指します。

※この資料では就職に役立つ IT 資格の一部を紹介していますが、講座の受講期間等によっては、高等職業訓練促進給付金の対象にならない場合があります。給付金の対象になるかどうかは、各自治体が個別に判断することになります。

### この資料の見方

#### 太字の文章

地の文章のうち、特に重要なポイントは太字及び下線で示しています。



#### 参考データ

既存研究等を基に、参考となる情報（既存の統計データ、文献からの抜粋等）を紹介するコーナーです。



#### コラム

この資料の作成に当たって企業に実施したヒアリング調査の結果から、ひとり親の方の参考となる内容をコラムとして紹介するコーナーです。

#### ヒアリング調査の結果から

この資料の作成に当たって実施したヒアリング調査で、企業や当事者等から挙げられた声を紹介しています。

#### 用語解説:

IT の専門用語等を分かりやすく解説しています。

#### ちょこっとポイント:

詳しく知りたい方向けの内容を記載しています。

# 1. これだけは知っておきたい 3 つのポイント

## 1 資格を取ることからではなく、まずは目標や就職先を検討する

p. 4~14, 17

ITを活用する仕事では、どの職種であっても、特定の資格を取らなければITを活用した仕事ができないわけではなく、また逆に、特定の資格を取れば必ず関連の仕事に就職できるわけでもありません。

そもそも一口に「ITを活用する仕事」と言っても、その内容や雇用条件等は様々です。そして、仕事によって採用時に求められるスキル内容やレベルは異なり、就職に有利なIT資格も異なってきます。

そのため、資格を先に決めるのではなく、まずはゴール設定をして、ゴール達成に必要な準備について検討し、その中でどのIT資格を取得するかを考える必要があります。

お住まいの地域や年齢など、状況によっては就職先が見つかりにくい場合があります。あらかじめ、お住まいの地域にITを活用した仕事の求人があるか、採用条件(職歴、年齢など)を満たせそうか、といったことを確認しておくのがおすすめです。

## 2 未経験者の採用可能性について

p. 15~16

基礎的なITスキルで対応できる仕事であれば、関連業務の実績がなくても、コミュニケーションスキルなど他に求められる条件を満たせば、採用される可能性は十分にあります。

雇用側はIT資格の有無で採用を決めるわけではありません。業務遂行力、コミュニケーション力、論理的思考力などのスキルが最も重要であり、その上でIT資格を持っていればプラスの評価となります。

## 3 資格取得に向けた修業環境を整える

p. 34

修業期間中は子育てや仕事もある中で学習を行いますので、修業開始前と比べて、時間的・体力的・精神的にハードな生活となることが予想されます。

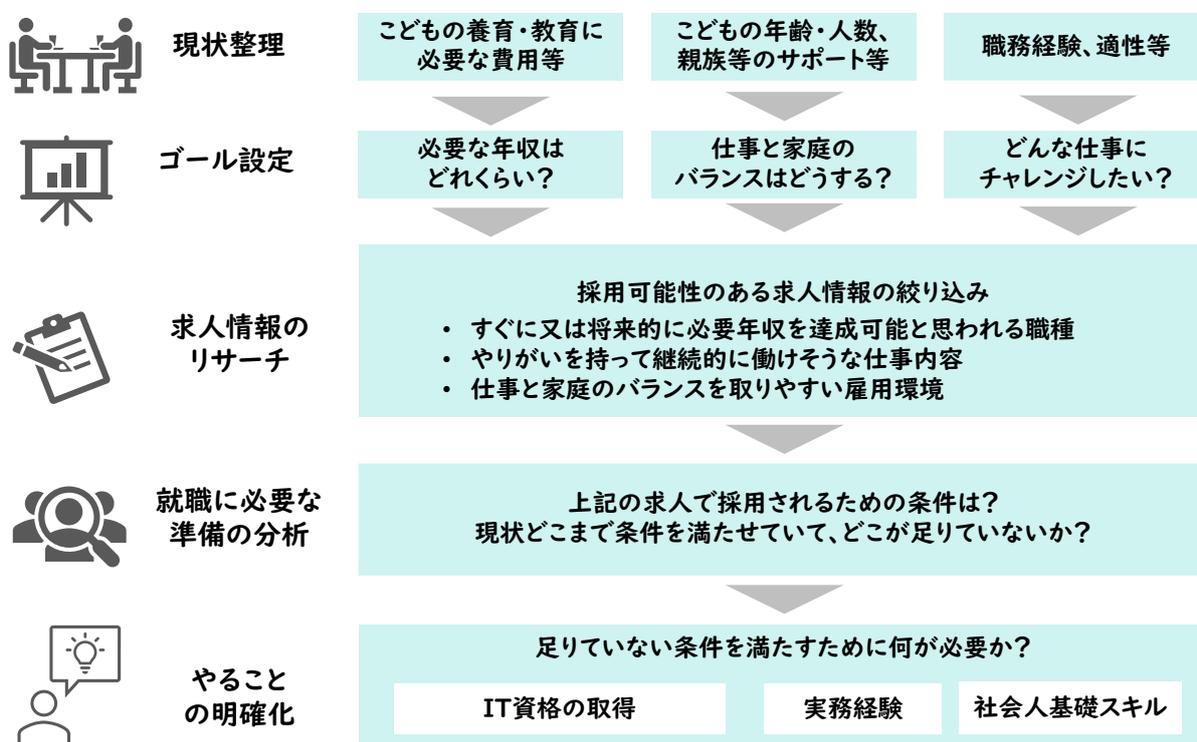
資格取得に向けた修業を決める前に、まずは学習する内容や難易度、資格取得までに必要な学習時間を把握し、その学習時間を確保する場合の1日のスケジュールを書き出してみることをおすすめします。そして、そのスケジュールでの生活を成り立たせるために、どのような体制を整える必要があるか、考えてみましょう。

## 2. 資格を決める前に、目標を立てる

- この資料を手にとられた方は、今現在、IT 資格の取得を検討されているのだと思います。IT 資格に関心がある理由は人それぞれと思いますが、「IT を活用する仕事をしたい、そのためには資格が必要だと思うから」という方も多いのではないのでしょうか。
- しかし実は、IT 資格を取得するだけで、IT を活用する仕事に就職できるわけではないのです。そもそも一口に「IT を活用する仕事」と言っても、その内容や雇用条件等は本当に様々です。そして、仕事によって採用時に求められるスキル内容やレベルは異なり、そうすると、就職に有利な IT 資格も異なってきます。

つまり、資格を先に決めるのではなく、まずはゴール設定をして、ゴール達成に必要な準備を分析し、その中でどの IT 資格を取得するかを考える必要があります（下図のイメージです）。皆さんは是非、このことを始めに意識してみてください。

### <ゴールから逆算して支援メニューを検討するためのステップ(イメージ)>



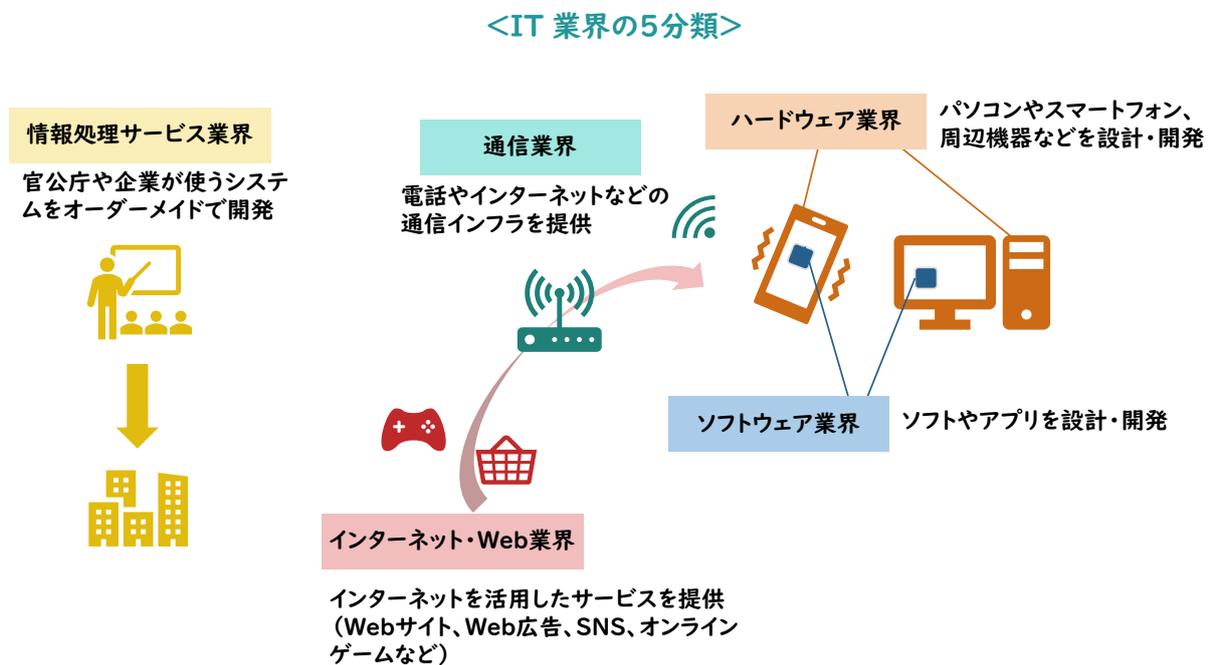
- そうは言っても、現状整理やゴール設定、必要な準備の分析など、自分ひとりでは難しく感じる方も多いと思います。その場合は、自治体のひとり親相談窓口やハローワーク、民間のひとり親支援団体などに一度相談してみると、まだ自分で整理しきれていない目標や思い、強み、これから何をすればよいか、見えてくると思います。

### 3. IT を活用する仕事の中身を知る

- あなたが「IT を活用してどんな仕事にチャレンジしたいのか」を考える際、まずは「IT 企業」や「IT 業界」といった言葉の意味や、仕事内容の例を知りたくなると思います。この章では、IT を活用する仕事について、用語や具体例などの基礎知識をまとめています。

#### (1) そもそも「IT 企業」「IT 業界」とは

- IT企業は、情報技術を活用した商品（サービス）を生産・提供している企業のことです。また、IT業界は、そうした企業の集まりのことです。扱う商品は企業によっていろいろですし、その商品を作るのに必要な仕事の種類も様々あります。
- IT 業界の仕事は多岐に亘りますが、一般的には下図の5つに分類されます。



## (2) IT 以外の業界にもある、IT を活用する仕事

- IT を活用する仕事があるのは、IT 業界だけではありません。近年は製造業や建築業などあらゆる業界で「DX（デジタルトランスフォーメーション）」が進められており、IT の活用が求められる業務が多くあります。
- 例えば一般事務の仕事でも、これまで紙で管理していた記録をデータ化するなど、IT を活用した業務見直しが進んでいます。このため、パソコンの文書作成ソフトや表計算ソフト（例：Word、Excel）をはじめとする IT の知識・技術を身に付けておくと、採用で有利になったり、仕事の幅が広がったりすることがあります。
- また、学校のデジタル学習を支援する ICT 支援員などは、業界としては IT ではありませんが、IT の知識・技術が必要とされる仕事です。

### 用語解説：

「DX」とは、デジタル技術を活用してビジネスを変革することです。AI等の技術で新しいサービスを提供することや、データを活用して社内の業務を効率化することなど、幅広い意味で使われます。

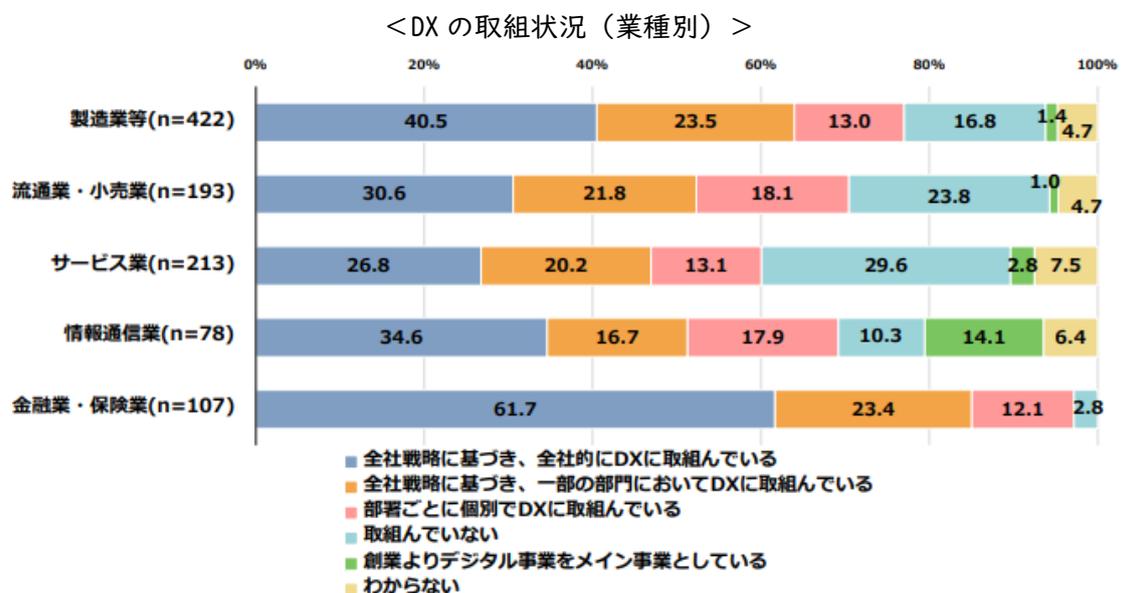


### 参考データ

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）「DX 動向 2024」（p.2、図表 1-1）によると、DX に取り組んでいる企業の割合（※）は 2023 年度で 73.7%（n=1,013）となっています。

※「全社戦略に基づき、全社的に DX に取り組んでいる」「全社戦略に基づき、一部の部門で DX に取り組んでいる」「部署ごとに個別で DX に取り組んでいる」の合計

また、DX の取組状況は業種によって差はあるものの、情報通信業（IT）に限らず、どの業種でも 6~10 割程度の企業が DX を進めていることが分かります（下図）。



（出所）IPA「DX 動向 2024」p.3、図表 1-3

### (3) 人材の需要動向

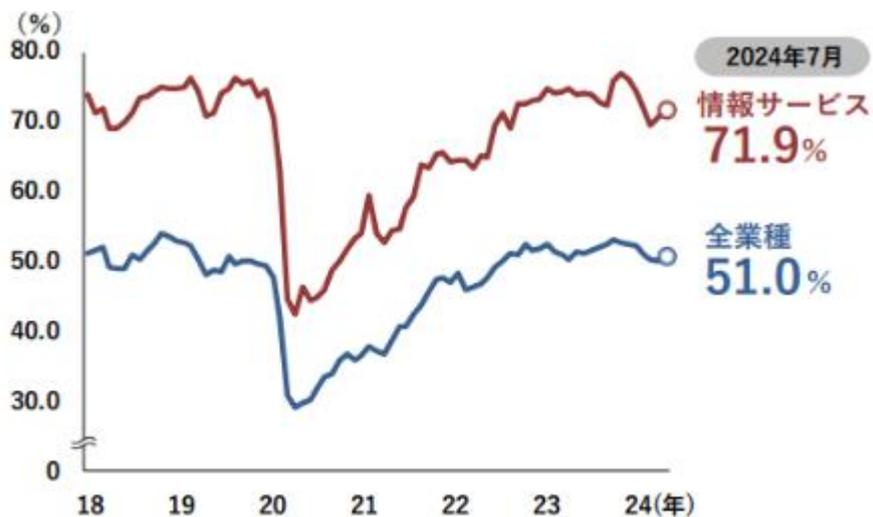
- ITを活用する仕事は、今後も高い需要が続く見込みです。初めてITを活用する仕事に就職する方でも、特に若いうちから実績やスキルをしっかりと積んでいくことができれば、長く活躍できる可能性が高いと思われます。



#### 参考データ

帝国データバンクによると、情報サービス業の正社員の人手不足割合は、2024年7月時点で71.9%であり、業種の中で最も割合が高くなっています。また、今後も需要の拡大に伴い人手不足が長引くと見られています。

<情報サービス業の人手不足割合 月次推移（正社員）>



(出所) 帝国データバンク「人手不足に対する企業の動向調査 (2024年7月)」『TDB Economic Online』<sup>ii</sup>

## (4) 仕事の具体例

### ① IT 業界の職種

- IT を活用した具体的な仕事について、まず、IT 業界の職種から説明をします。(1) で IT 業界の 5 分類を説明しましたが、各業界（ハードウェア業界、ソフトウェア業界、通信業界、インターネット・Web 業界、情報処理サービス業界）の中でも、様々な職種があります。
- IT 業界の仕事の工程（流れ）は一般的に、企画立案・プロジェクト管理、営業、設計・構築、運用・保守に分けられ、工程ごとに異なる職種が関わっています。下の図で例を示します。

#### 用語解説:

「職種」は個人が担う仕事の種類のことで、これに対し「業種」（「情報通信業」等）は企業が行う事業の種類です。

#### 用語解説:

「工程」とは、作業を進める順序やステップのことです。

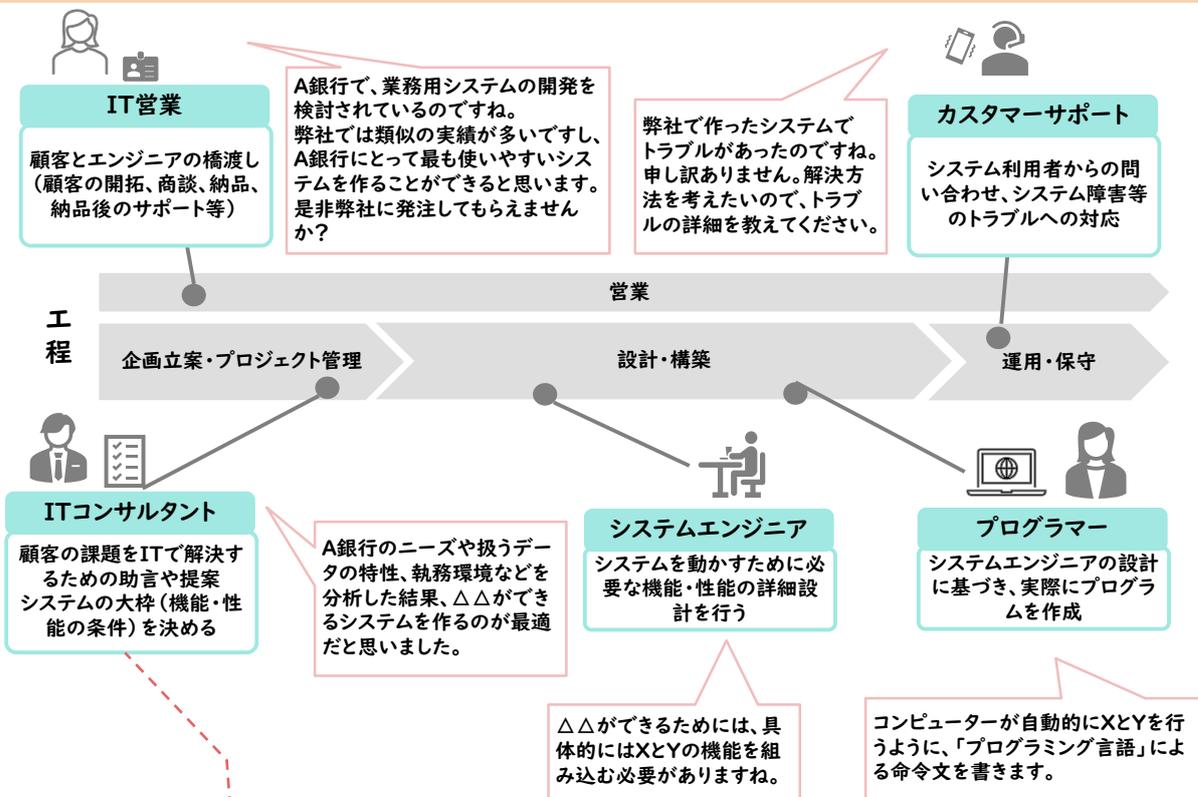
### <工程ごとの職種(例1)>

凡例: 職種 業務内容 例 のシチュエーションにおける業務の具体的イメージ

### 企業向け業務用システム開発のケース

例

顧客であるA銀行から、業務で使うシステムの開発を依頼された。A銀行で扱うデータの特性、A銀行独自の執務環境などを考慮し、A銀行にとって最も使いやすいシステムを作ること。



#### ちょっとポイント:

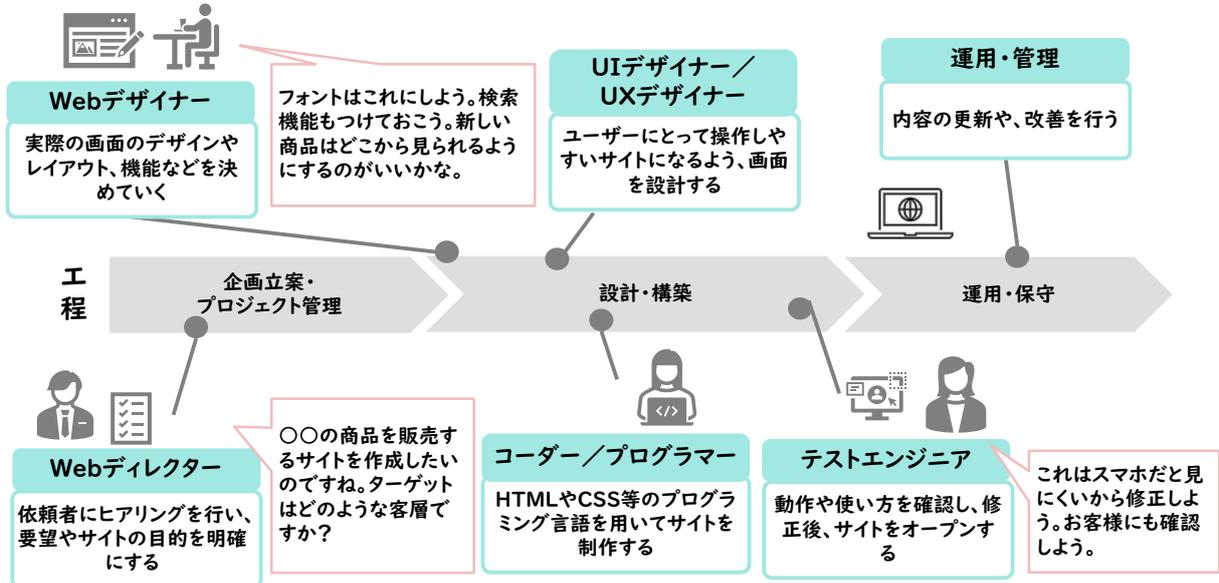
各 IT 職種の仕事範囲は、各企業が業務の実態に合わせ、少しずつ異なるものを設定しています。上図のシステム開発のケースで言えば、図のように IT コンサルタントとシステムエンジニアが分業している企業もあれば、システムエンジニアが企画立案・プロジェクト管理から担っている企業もあります。求人票上の職種名だけで判断せず、各企業に実際の仕事内容を確認する必要があります。

## <工程ごとの職種(例2)>

凡例: 職種 業務内容 例 のシチュエーションにおける業務の具体的イメージ

### 商品販売のためのWebサイトを制作するケース

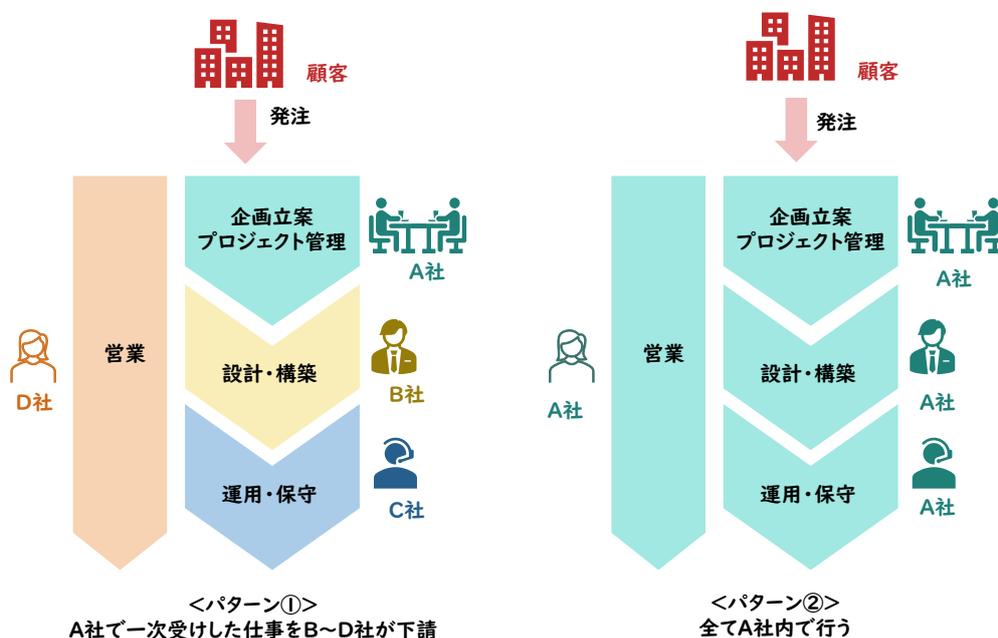
例 顧客企業から、自社商品のオンラインショップのサイト制作を依頼された。大規模なWebサイトであるため、社内でチームを組んで作成することに。



※上記の例では様々な職種で役割分担を行っていますが、実際には、Webデザイナーだけで全ての工程をカバーする場合も多くあります。

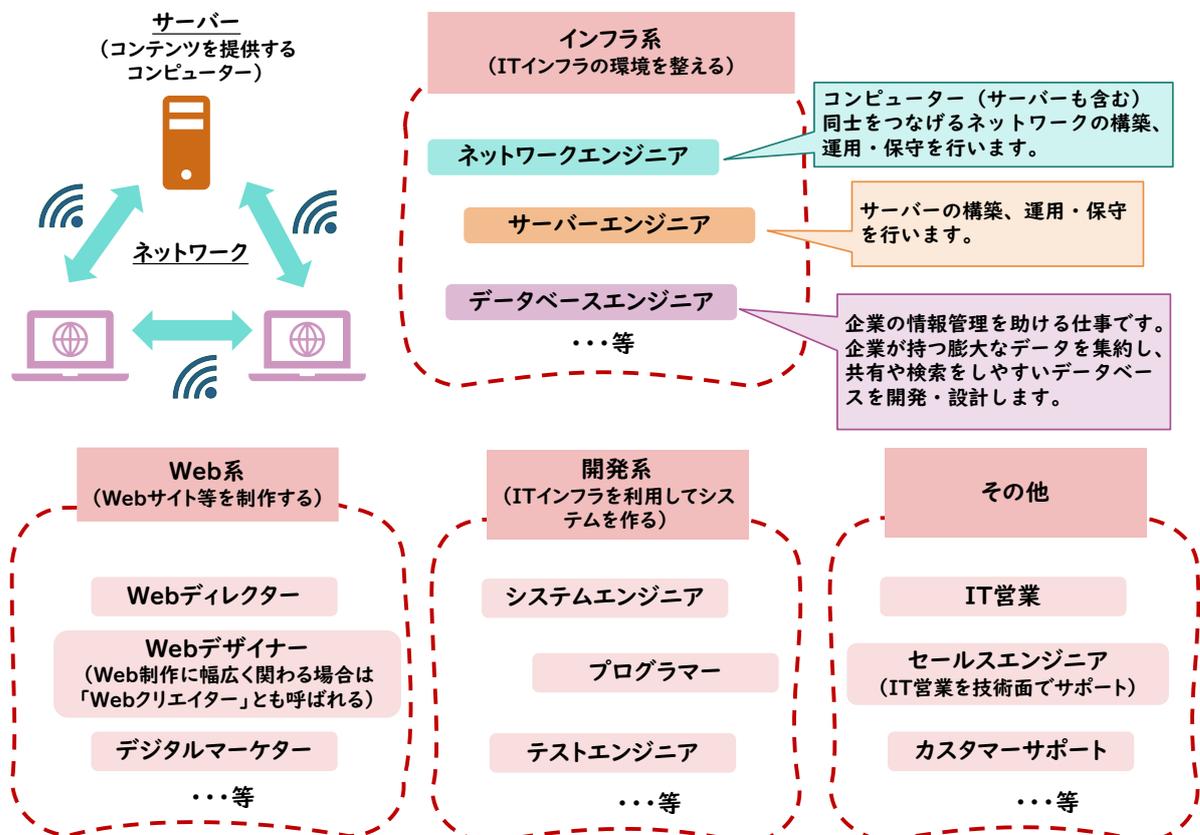
- なお、1つのプロジェクトに必要な仕事について、1つの会社で一括して行っていることもあれば、複数の企業（システムエンジニアの会社、カスタマーサポートの会社等）がチームとして行っていることもあります。

## <IT業界の構造(例)>



- ここまでの説明で、IT 業界の職種の具体例を見ていくと、生み出す商品の種類（企業向け業務用システム、Web サイト等）が個々の企業によって様々あることをお分かりいただけたかと思えます。ただ、いろいろなパターンがあるとはいえ、ある程度カテゴリ分けした方が理解しやすいため、大まかな職種の分類を下図に示しておきます。（中でも「インフラ系」の職種は聞きなれない言葉が多いと思うので、詳しくに解説しています。）

### <IT 業界の職種の大きな分類>



※実際には、1人で2つ以上の役割を担う場合も多々あります。

- では、IT 業界の職種の中で、業務未経験から目指しやすいものとしては、何があるでしょうか。次ページ以降にいくつかの例をまとめましたので、参考に見てみてください。中でもデジタル marketer や IT 営業、カスタマーサポートは、ヒアリング調査でも、基礎レベルの IT スキルがあれば業務未経験からでも始めやすい職種として挙げられていました。
- なお、同じ職種でも、企業によって担当する仕事内容は大きく異なることにご留意ください。また、次ページ以降で触れている IT 資格は、高等職業訓練促進給付金の対象にならない場合もありますので、ご注意ください（給付金の対象かどうかは、お住まいの自治体に御確認ください）。
- その他の職種については、厚生労働省の職業情報提供サイト「job tag」（<https://shigoto.mhlw.go.jp/User>）で調べてみるのもおすすめです。「job tag」では、IT 業界以外にも含めた様々な職種について、仕事内容や平均収入等の情報がまとめられています。

## Web デザイナー、Web クリエイター

### ■業務内容

Web デザイナー、Web クリエイターは、Web サイトを制作する職種です。依頼者の意図をくみ取って、使いやすさも考えながらデザインし、プログラミング言語を使って Web サイトを作ります。Web サイトの公開後も、より使いやすくなるように更新していきます。

### ■未経験での採用可能性

HTML や CSS などのプログラミング言語や、Illustrator のようなデザインツールの使い方を学ぶことに加え、自分で制作したサイトやデザインをまとめたポートフォリオを作っておくと、実務経験がない場合でも、実践的なスキルがあることをアピールできます。

### ■市場ニーズの動向

EC サイト（ネットショップなど）やインターネット広告など、Web デザインの需要自体は増加していくでしょう。ただ、最近は AI やデザインツールの普及により、初心者でも Web デザインが可能となり、仕事を獲得できない Web デザイナーも増えています。他方で、アクセシビリティ対応や AI 活用サイトなど、新しい知識や高度な技術を持つ Web デザイナーは、今後も求められていくと思われます。

### ちょこっとポイント:

Web デザイナーは依頼者の要望に沿って設計をすることが基本ですが、ユーザー目線で使いやすい画面をデザインする「UI デザイナー」や、サービスを使うことで得られる心地よさや満足感などの体験をデザインする「UX デザイナー」という職種もあります。

## デジタルマーケター

### ■業務内容

インターネットを活用したマーケティングの戦略を立てる仕事です。顧客の要望を基に、Web サイトや SNS などを活用した効果的な商品販売促進の方法を考え、実行します。

### ■未経験での採用可能性

未経験者も可とする求人も多くあります。エントリーレベルの仕事で実務経験を積みながら、関連の資格（ウェブ解析士、マーケティング・ビジネス実務検定、Google アナリティクス個人認定資格等）を取得することで、更なるキャリアアップを目指せます。

### ■市場ニーズの動向

電通「2023 年日本の広告費」によると、2023 年の広告費 73,167 億円のうち、インターネット広告費は 45.5% を占め、新聞・雑誌・ラジオ・テレビの広告費を大きく上回っています。インターネット広告費は過去 10 年で 3 倍に伸びており、今後もデジタルマーケティングの仕事の需要は高まっていくと思われます。

## プログラマー

### ■業務内容

プログラマーは、システムエンジニア（システムの設計・開発・運用の全体を管理する職種）の行った設計を基に、プログラム言語を用いてシステムやソフトウェアを開発する職種です。プログラムのバグ（システムの不具合の原因）の発見、修正等も重要な仕事です。

### ■未経験での採用可能性

年数をかけて専門的スキルを習得していく前提のため、未経験の場合は20～30代の採用を中心とする企業が少なくないようです。

未経験の場合は、プログラミングの知識を習得することが採用に有利に働きます。プログラミング言語は多岐に亘るため、どのような製品の開発を行う企業に就職したいかを踏まえ、学習する言語を選択しましょう。

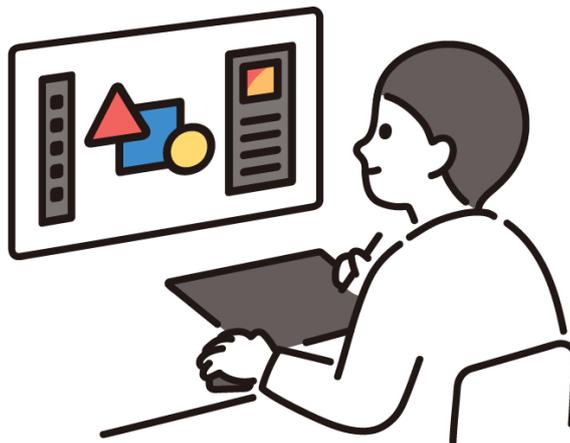
### ■市場ニーズの動向

AI 技術の進歩により、プログラマーやシステムエンジニアの需要が減っているとも言われます。

しかし、例えば IT インフラを扱う仕事では、顧客とコミュニケーションを取りながら継続的に課題分析や改善策の検討を行う必要があるなど、AI よりも人間に期待される役割が大きいです。特に、プログラマーからシステムエンジニアにキャリアアップすることで、活躍の場が広がっていくことが期待されます。

### ちょこっとポイント:

プログラマーの経験を積んでから、上流工程の職種であるシステムエンジニアにキャリアアップする方が多いようです。システムエンジニアは、顧客からの要望を基にシステムを設計し、プログラマーと協力しながらシステム開発、テスト等を行います。プログラミング等の IT 知識の他、顧客や開発チームとのコミュニケーションや開発をマネジメントする力など、プログラマーよりもハイレベルなスキルが求められ、年収等も高くなることが多いです。



## IT 営業

### ■業務内容

IT 営業は IT 技術の専門性を生かした営業を行います。顧客から課題や方針を聞き取り、自社が提供している商品（IT 機器や IT サービス、システム等）を顧客先に販売します。

### ■未経験での採用可能性

資格は必須とされておらず、IT 業界の中では未経験者が挑戦しやすい職種であると言われています。

一般的な営業職と同様、顧客が抱えている課題を的確に把握・分析し、解決方策を提案することが求められるため、コミュニケーション力、課題分析力、さらに顧客にサービスや提案をわかりやすく説明する説明力等が求められます。もちろん IT 関連の知識や営業の経験があれば、採用可能性はより高まるでしょう。

### ■市場ニーズの動向

IT 業界全体の傾向と同様、IT 営業についても、スキルを持つ人材の高い需要が続いていくと思われます。

## カスタマーサポート

### ■業務内容

カスタマーサポートは、商品に関する顧客からの問い合わせに対して、電話、メール、チャット、訪問等でサポートを行う職種です。基本的な製品の使用サポートから、システムのトラブルシューティングまで、対応内容は多岐に亘ります。

#### ちょこっとポイント:

商品を導入した顧客に対し、継続的なサポートをすることを通じて、サービスの継続利用や新規利用につなげていく仕事を「カスタマーサクセス」ともいいます。  
また、カスタマーサポートの中でも、商品の利用中に発生したトラブル等に対応する窓口を「ヘルプデスク」と言います。

### ■未経験での採用可能性

特別な資格等は必要とされないことが多く、IT を活用する仕事の登竜門として、未経験者でもチャレンジしやすい職種です。システムや IT 機器を対象とするため、IT 関連の知識やパソコンの基本操作スキルを身に付けておくとい良いでしょう。また、顧客との対話が中心になるので、コミュニケーション力があれば活躍しやすいと思われます。

### ■市場ニーズの動向

AI の進化によりサポートの自動対応が進む可能性が指摘されていますが、多くの企業で IT は活用されており、カスタマーサポートの需要は高い状況が続いています。

IT の基礎知識やスキルを習得することで、より専門性の高いサポート対応で活躍する人、プログラマーやシステムエンジニアにキャリアアップする人がいます。

## ② IT 以外の業界で、IT を活用する仕事

- IT 以外の業界で基礎レベルの IT スキルを必要とする職種としては、以下で紹介する ICT 支援員の他、一般事務等の仕事もあります。

### ICT 支援員

#### ちょこっとポイント:

自治体に直接雇用されるケースと、自治体の委託を受けた民間企業に雇用されるケースがあります。

#### ■業務内容

学校における教員の ICT 活用（例えば、授業、校務、教員研修等の場面）をサポートすることにより、ICT を活用した授業等を教員がスムーズに行うための支援を行う職種です。具体的な業務内容としては、授業支援（教員・児童生徒の操作支援、機器の準備、障害トラブル対応等）や、校内での研修実施、環境整備（メンテナンス、ソフトウェア更新等）、校務支援（ホームページ作成支援等）等が挙げられます。

勤務時間帯や長期休暇の時期など、子どもと生活リズムが合う点で、働きやすい仕事です。

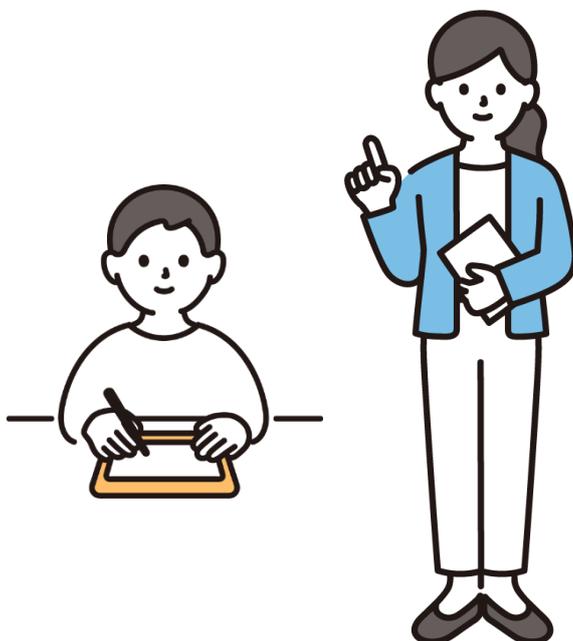
#### ■未経験での採用可能性

資格は必須とされていませんが、業務ごとに必要なスキルレベルが「基本レベル」「応用レベル」の2段階に分けて定められており、少なくとも「基本レベル」のスキルが求められます。

技術系職種や教員経験者が採用されるケースが多いので、未経験者の場合は、採用可能性を高めるため、ICT 支援員に必要な知識やスキルがあることを証明する「ICT 支援員認定試験」を受けることも1つでしょう。

#### ■市場ニーズの動向

文部科学省が定めた「教育の ICT 化に向けた環境整備計画」では、ICT 支援員を4校に1人配置することを目標としています。令和5年度末時点では4.5校に1人と、計画にはとどいておらず<sup>iii</sup>、今後も採用数は増加していくと見られます。



## 4. 未経験者の採用可能性と仕事への適性

### (1) 未経験者でも採用されるのか

- IT を活用した仕事では、業務未経験の場合、初めから高条件で就職することは難しいのが現実です。
- IT を活用した仕事は幅広く、高度な専門知識と豊富な実務経験を必要とする仕事（例：ソフトウェアの会社で開発の全体設計を担う場合など）もあれば、基礎的な IT スキルだけで始められる仕事（例：ソフトウェアの会社で商品のテストを行う仕事や、顧客の興味や行動に合ったコンテンツを SNS 配信するデジタルマーケティング、表計算ソフトを操作する一般事務等の仕事）もあります。
- 基礎的な IT スキルで対応できる仕事であれば、関連業務の実績がなくても、コミュニケーションスキルなど他に求められる条件を満たせば、採用される可能性は十分にあります。
- 他方、高度な IT スキルを必要とする仕事をしたい場合は、いきなりその仕事への就職を目指すのは現実的ではありません。いずれその仕事に就くことを念頭に、初級の仕事から始めて、下積みの時期を経てレベルアップしていく必要があります（例：将来的にはソフトウェア開発の全体設計を担うシステムエンジニアになることを目指して、比較的難易度の低いプログラマーから始める）。
- また、Web デザイナーを目指す方については、自分で制作したサイトやデザインをまとめたポートフォリオを作っておくことで、実践的なスキルがあることを証明できるため、業務未経験でも採用で有利になる場合があります（「7.IT を使って活躍するひとり親の事例」も参照）。

## (2) 採用で資格よりも重視されること

- ITを活用した仕事では、労働時間だけでなく成果が重視されることが多くあります。そのため、採用に当たっては資格の有無よりも、実績や、成果を出すポテンシャル(業務遂行力、コミュニケーション力、論理的思考力など)があるかどうかが問われます。
- 雇用側にとっては、業務遂行力、コミュニケーション力、論理的思考力などのスキルが最も重要であり、その上で IT 資格を持っていればプラスの評価となります。逆に、上記のようなスキルが足りないとみなされた場合、資格を持っていても採用されない可能性が高くなります。
- なお、実績については、ITを活用した仕事の実績がなくても、例えば、特定の企業で一定期間、フルタイムの正社員として働いた経験がある場合は、それをアピールすることで、「企業で働くことに慣れている人」という評価を受けられる場合があります。

### ヒアリング調査の結果から

ひとり親を支援する民間団体やひとり親を雇用するIT企業等に、採用で重視されるスキルを尋ねました。その結果から、以下のようなポイントを整理しました。

#### ■業務を遂行する力

- ・ まずは、どんな仕事にも共通することですが、責任感を持って最後まで仕事をやり遂げる力が重要です。
- ・ また、ITを活用した仕事では、複数のタスクを同時並行で行うことが多くありますので、自分でやるべきことを洗い出し、優先順位を考え、スケジュールを守って仕事を進める力(タスク管理力)が求められます。

#### ■コミュニケーション力

- ・ どんな企業であっても、社内や顧客とやりとりしながら仕事を進める上で、コミュニケーション力(相手の話を傾聴する力や、共感する力、伝える力など)は必須のスキルです。
- ・ また、IT業界では形の見えないもの(ネットワークやソフトウェアなど)を商品としています。商品について顧客に説明したり、社内で打合せをしたりする際は、専門的な内容や抽象的な概念であっても、的確な言葉でわかりやすく表現しなければ、お互いの認識を合わせることができません。つまり、説明力、プレゼン力が重要です。

#### ■論理的思考力

- ・ 特にIT業界の場合、顧客の要望に対応するシステムの構築や、システムに問題がある場合の改善作業を行うために、論理的思考力(全体像を見ながら問題を分析し、解決策を筋道立てて考える力)が重要となります。

### (3) 地域や年齢によっては就職チャンスが少ない

- お住まいの地域など、状況によっては就職先が見つかりにくい場合があります。ITを活用した仕事への就職を考えている方は、あらかじめ、お住まいの地域にITを活用した仕事の求人があるか、採用条件(職歴など)を満たせそうか、といったことを確認しておくのがおすすめです。
- 地域によっては、ITを活用した仕事の求人自体が少ないこともあります。



#### 参考データ

前出のIPA「DX 動向 2024」でも、従業員規模が小さい企業ほど、DXに取り組んでいる割合が低いというデータがあります(※)。つまり、小規模な企業が中心の地域では、ITを活用した仕事の求人も少ないことが予想されます。

※2023年度にDXに取り組む企業の割合は、従業員規模が「1,001人以上」の企業では96.6%(n=266)なのに対し、「100人以下」の企業では44.7%(n=336)となっている(IPA「DX 動向2024」p.2、図表1-2)。

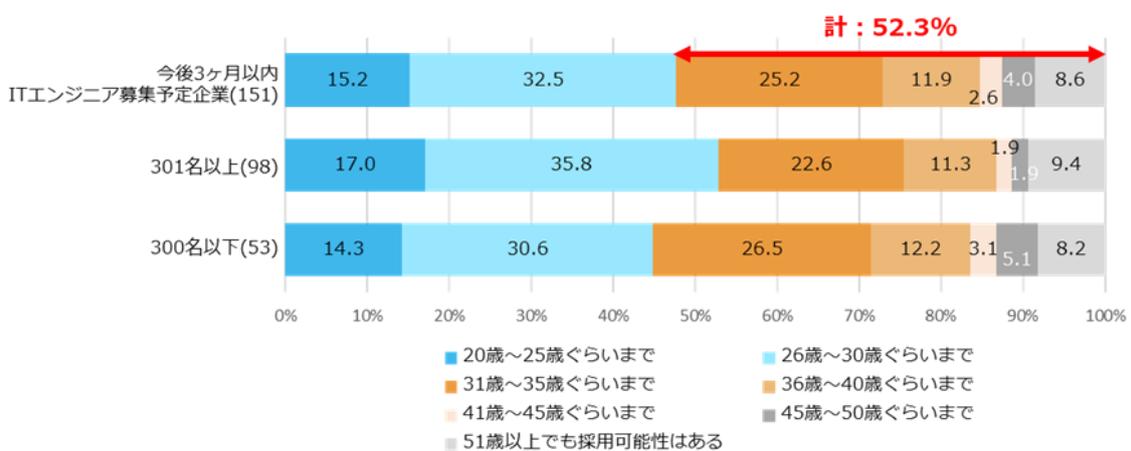
- 特に専門性の高い職種では、未経験者の場合、就職してから時間をかけてキャリアアップしていく想定のため、20~30代を中心に採用をしている企業も少なくないようです。



#### 参考データ

マイナビ「中途採用・転職活動定点調査」によると、3か月以内に「ITエンジニア」を募集予定の企業に対し、開発未経験の応募者の採用可能性を尋ねたところ、半数以上は30代以上でも採用可能性ありと回答しました。ただ、30代前半に比べると、30代後半以降は割合が低くなっています。

＜応募者が開発未経験の場合、何歳までなら採用の可能性はあるか＞



(出所) マイナビ中途採用・転職活動定点調査(2023年6月)<sup>iv</sup>、図7

## (4) 仕事への適性も重要

- どんな仕事でも同様ですが、自分の適性によっては「仕事が合わない」こともあります。せっかく IT を活用する仕事に就職しても、自分が合わないと感じる仕事では、働き続けることがストレスになるかもしれません。
- IT を活用する仕事の中にも、とりわけ論理的思考が求められる仕事や、特に対人コミュニケーションスキルが重視される仕事など、様々なものがあります。関心のある仕事の内容をよく調べ、スキルやパーソナリティの面で自分に合いそうか、想像しながら就職先を検討してみてください。
- 自分のスキルやパーソナリティを整理できていないという方は、適職診断を受けてみるのも1つの方法です。適職診断は、オンラインで無料公開されているものも多くあり、IT 業界の職種に特化したものもあれば、様々な分野の仕事の中から適職を判断してくれるものもあります。



### 参考データ

厚生労働省の職業情報提供サイト (job tag) では、仕事に対する興味・価値観、能力面の特徴から適職を探索する自己診断ツールが公開されています (IT 業界に特化したツールではありません)。自分のスキルやパーソナリティを確認する参考にしてみてください。

※職業情報提供サイト (job tag) 『自己診断ツール』

<https://shigoto.mhlw.go.jp/Search/Top>



### 参考データ

IT 業界の採用活動では、プログラマーなど IT 業界の仕事に向いているかを判断するため、業界特有の適性検査を行う場合が多くあります。例えば、主要な適性検査の1つである「CAB」 (日本エス・エイチ・エル株式会社の提供するコンピュータ職適性検査) では、指定された命令を実行すると図形がどう変化するかを尋ねる問題など、プログラミングに必要なスキルを測る問題が出題されます。適性検査の出題例を確認すれば、自分の適性を判断する参考になるかもしれません。

iRupでは、独自の研修スキームで未経験者をITエンジニアとして育成しており、ひとり親の社員も活躍しています。



## コラム: IT企業におけるITエンジニアの育成(株式会社iRup)

### ■会社の概要、特徴

- 株式会社iRup(以下「iRup」という)はエンジニア派遣、エンジニアの育成、システム開発などを行う会社です。2021年創業で、従業員は約100人です。
- iRupの特徴の1つは、経験者だけでなく未経験者も採用し、即戦力のITエンジニアとして育成していることです。会社として未経験者向けのカリキュラムを用意しており、内定者は入社までの間にこのカリキュラムを各自修了し、ITエンジニアとして最低限必要なスキル(コミュニケーション力、問題解決力等)を身につけます。入社後の1~2年間は、先輩社員の案件に参画しながら実践スキルを磨きます。慣れてきたら、自分で案件のマネジメントを行うなど、主体的に仕事を進めていくようになります。

### ■ひとり親の社員について

- 上記のような育成体制の下、未経験から入社し、システムの運用・保守兼プログラマーの仕事で活躍しているひとり親の社員もいます。オフィスへの出社を基本とするなど、雇用条件等で他の社員と異なることはありません。ただ、チームメンバーに対してひとり親であることや、こどもの病気等で急に休む場合がある等も説明した上で案件に参画しており、周囲の理解を得ながら柔軟に有給休暇の取得等を行えています。

### ■雇用条件、働き方

- iRupで未経験者を多く採用しているのは、運用・保守の職種です。採用後半年間は契約社員ですが、勤怠等に問題がなければ、その後正社員に切り替わります。年収は300万円前後からスタートします。
- 正社員の平均残業時間は月10時間前後です。ただし、仕事内容や時期によっては残業が多くなることがあります。特にリリース(新しい商品を発表すること)の時期は忙しくなりがちです。また、運用・保守の仕事は、夜間に問い合わせが発生する案件の場合、夜型の勤務になることがあります。
- 大半の社員がオフィスに出社しています。テレワークでは、特に新規採用者の場合、分からないことがあっても聞きづらい等、コミュニケーションや仕事の効率でデメリットも多くあります。実績を数年積みめば、テレワークに移行してもスムーズに仕事ができるかもしれません。

#### 用語解説:

Amazon Web Servicesが提供するクラウドサービスに関する知識やスキルを認定する資格です。

### ■IT資格に関するアドバイス

- ITエンジニアとして働くには、ある程度の基礎知識を身につけた段階で実践に移り、実績を積みながらキャリアアップしていくことが重要です。ただ、採用段階でIT資格があればベターです。Excel関数が使えることは最低限必要ですが、VBAや、インフラ系のエンジニアを目指すならLPI認定資格、CCNA、AWS認定資格などがあるとよいでしょう。

## 5. 気になるワード「テレワーク」と「フリーランス」

### (1) テレワークのよくある誤解

- IT を活用した仕事であっても、必ずテレワークができるわけではありません。職場によって、完全テレワーク（全くオフィスに出勤せず、在宅など自分の好きな場所で仕事をしてよい）を認めている場合もありますが、毎日又は定期的にオフィスに出勤することを求めている場合もあります。

#### 用語解説：

「テレワーク」は、在宅勤務の他、サテライトオフィス・シェアオフィス、モバイル勤務（ホテルや新幹線・電車等、移動中の場所で仕事すること）も含まれます。



#### 参考データ

2023 年 4 月の内閣府「第 6 回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査」によると、全国のテレワーク実施率は 3 割、東京 23 区で 5 割となっており、地域により差があることが分かります。また、業種によっても差があり、情報通信業（IT）では 7 割となっています。

なお、上記の「テレワーク実施率」のうち、完全なテレワークを認めているケースの割合はかなり低いと思われます。例えば、マイナビ「ライフキャリア実態調査 2024 年版」でも、正社員でリモートワーク（テレワーク）をする人のうち、完全リモートワーク（週 5 日以上在宅勤務をしている人）は 2 割弱（n=792）にとどまっています（東郷 2024）<sup>9</sup>。

- 「テレワーク＝楽な仕事」というイメージを持っている方もいるかもしれませんが、それは誤解です。テレワークでは、オフィスに出勤して行う仕事と同様に、勤務時間中はパソコンに向かって仕事をしている必要があり、オフィスで仕事をする場合と同様の量と質の成果を出すことが求められます。
- テレワークでは 1 人きりの環境で仕事ができるため、他の職員との直接のやりとりが少なく、人間関係のストレスが少ないと感じる人もいます。ただし、それは裏を返せば、自分で仕事の進行を管理し、仕事に必要なスキルも自分で身に付けていかなければならないなど、自律性が求められるということでもあります。
- 過度な期待を持ったままテレワークを始めてしまうと、「こんなはずではなかった」と思う場面に多く直面し、仕事を続けることが難しくなってしまうかもしれません。テレワークを希望する場合は、上記のことをしっかり認識しておくことが重要です。

## (2) フリーランスの実際

- ITを活用した仕事を目指す方の中には、フリーランスに関心のある方もいるのではないかと思います。フリーランスと言えば、好きな時間に好きな場所で仕事ができる、といったポジティブなイメージが強いかもしれませんが。しかし実際には、フリーランスにもデメリットがありますし、フリーランスになったもののうまくいかないケースも存在します。
- 「フリーランス」とは、企業等の組織には所属せず（企業等と雇用契約を結ばず）、個人で仕事を請け負う働き方のことです。単発の仕事について、企業等との間で業務委託等の契約を結び、その仕事が終わったら契約終了となります。
- フリーランスの強みは、時間や場所の制約を受けず、柔軟な働き方が可能な点です。また、単発の仕事一つ一つについて契約を行うので、やりたい仕事を主体的に選びやすいのもメリットです。スキルの高い人であれば、組織に所属して仕事をするよりも、高い収入を目指すことができます。
- しかし、上記のようなメリットを享受するには、高いスキルを持った人材であることが前提条件となります。当然ながら、業務を委託したいと考える顧客がいなければ、仕事の依頼は来ません。また、一つ契約ができたとしても、その案件が終われば契約は終了し、次の契約があるまで収入はゼロになります。
- 一般的には、まず企業等の組織に所属して（正規雇用等の雇用契約を結んで働いて）、キャリアや人脈を築いてから、フリーランスに転向するケースが多いようです。未経験から Web デザインやプログラミングの仕事にチャレンジしようとしている方については、まずは企業に所属して経験を積んでいく方が、いずれフリーランスに転向するとしても、成功するチャンスが大きくなると思われます。



### 参考データ

一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会「フリーランス白書 2024」<sup>vi</sup>によると、フリーランス・パラレルワーカーの回答者 1,242 人について、直近 1 年間の仕事獲得経路で最も多いのは「人脈（知人の紹介含む）」（61.6%）、次いで「過去・現在の取引先」（58.9%）となっています（重複回答あり）。また、最も収入が得られる仕事獲得経路は、「過去・現在の取引先」（32.7%）、「人脈」（27.9%）の順に多く、合計で全体の 6 割となっています。フリーランスとして仕事を獲得していく上では、実績や人的ネットワークが重要であることが分かります。

### 用語解説：

「パラレルワーカー」とは、複数の仕事を持ちながら働く人のことで、雇用契約をしている人も含まれます。

## 6. 取得する IT 資格を考える

### (1) IT 資格を取得する意義

- IT を活用する仕事では、どの職種であっても、特定の資格を取らなければ IT 関係を活用した仕事ができないわけではなく、また逆に、特定の資格を取れば必ず関連の仕事に就職できるわけでもありません。基礎的な IT スキルだけで始められる仕事であっても同様です。
- 他方で、**IT 資格は、IT の知識や技術を証明するツールの 1 つとして有用です**。業務未経験者の場合は、基礎レベルの IT 資格の取得を通じて、IT 業界の仕事をする上で最低限のコミュニケーションを取れるだけの力が身につきます。そのため、企業から「仕事上のコミュニケーションができる人」「IT の基礎知識を自ら学習し修得する能力のある人」といった評価を受けやすくなることがあります。
- また、既に IT 企業等で活躍している人については、(今の職場で資格が昇格・昇給等の要件になっている場合は) IT 資格の取得が昇格・昇給につながったり、仕事の幅を広げたり、職場での評価を高めるといった効果も期待できます。



#### 参考データ

三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社 (2024) <sup>vii</sup> の調査で、高等職業訓練促進給付金を活用して IT 資格を取得した人からは、同じ職場にしながら仕事の幅が広がった、能力が向上した、給与が上がった、職場で評価が高まったといった声がありました。

#### <資格を取得したことによる就業状況の変化(IT 資格取得者の回答のみ抜粋)>

仕事の幅が広がった
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 仕事内容にデータ活用を利用する業務が増えた。レベルアップできた。</li><li>・ これまで提供していたサービスに加えて、ウェブデザインの知識もふまえてサービス提供をできるようになりました。</li><li>・ 任される仕事が増えた。自分に自信がついた。</li></ul>
能力が向上した
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 新しいシステムやパソコン周りの動作確認などが以前より容易になった。</li><li>・ PC 操作が早くできるようになった。</li><li>・ 作業効率があがった。</li></ul>
給与アップにつながった
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 給料が上がった。</li><li>・ 仕事でできる事が増え、能力給が上がった。</li></ul>
職場で評価が高まった
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 職場で意見を重宝されるようになった。</li></ul>

(注) 複数のカテゴリに当てはまるものについては、主なもの 1 つに掲載した。

(出所) 三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社 (2024) p.167, 図表 4-71

- ただし、「IT」は職業ではなく、あくまでスキルです。そのため、IT資格を取得しただけでは、すぐには好条件の就職ができない場合も多いのが現実です。また、地域や年齢などによっては、求人自体が見つかりにくいこともあります。特に、ITを活用した仕事が未経験の方については、まずはITを活用する仕事の内容や就職に当たり求められることを理解し、自分がどんな仕事を目指し、そのためにどんな準備をすればよいのか、戦略を立てることが重要です。
- なお、「IT」はあくまでスキルであるからこそ、本人の意欲や活用の仕方によって、多様な選択肢につながる可能性があります。時間単価の労働よりもナレッジワーク（自身の持つ知識を活用して新たな付加価値を生み出す労働）が向いている人や、病気や障害等の理由で体を大きく動かすことが難しいものの、デスクワークなら活躍できる人、パソコンの基本スキルを身につければ応募できる求人が増えるという人もいます。そうした方にとっては、自分らしく継続的に働いていく上で、ITを活用したキャリアにチャレンジすることは価値があるものと思われる。

## (2) 就職活動に役立つ IT 資格の例

- 初心者でもチャレンジしやすい基礎レベルの IT 資格で、国の給付金制度（高等職業訓練促進給付金や教育訓練給付金など）の対象となる可能性のあるものについて、いくつか紹介したいと思います。（なお、実際に給付金の対象になるかどうかは、お住まいの自治体に確認が必要です。）
- まず、IT 資格の難易度を判断する際、1つの目安となるのが「IT スキル標準（ITSS）」です。初心者の場合、難易度に関して言えば、ITSS レベル1相当の資格からチャレンジするケースが多いと思われます。なお、基礎レベルの資格の中には、ITSS の枠組みではレベルが割り振られていないものもあります。



### 参考データ

IT スキル標準（ITSS）は、情報サービス産業における各職種・専門分野について、評価の基準となるレベルの設定、必要なスキルの定義、キャリアマップの提示をすることで、必要な実務能力を体系化した共通枠組みです。平成 14 年 12 月に経済産業省により策定されましたが、現在は独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が改訂版を策定・公表しています。

ITSS では、個人の経験と実績の達成度指標で評価する 7 段階のレベルを設定しています。高等職業訓練促進給付金では、修業期間が 6 か月以上であれば、ITSS のどのレベルの資格も対象になり得ますが、一般的にはレベル 1~3（比較的初級レベルのもの）に相当する資格を目指すケースが多いと思われます。

レベル 1 は仕事上のコミュニケーションに必要な基礎知識があるレベル、レベル 2 は指示に従ってマニュアル化された業務を行えるレベル、レベル 3 は独力でマニュアル化された業務を行えるレベルとされています（IPA 2012）<sup>viii</sup>。

- まず、職種を問わず必要な IT の基礎知識や、パソコンの基本スキルを証明する資格を紹介します。

## IT パスポート試験

国家資格

情報処理技術者試験（国家試験）の 1 つ。IT に関する全般的な基礎知識を測定する試験として、採用や社員教育に活用している企業も多い。

### ■学習内容

AI、ビッグデータ、IoT、経営、プロジェクトマネジメントなど、IT に関する総合的知識

### ■学習に必要な前提知識等

パソコンの基本操作（起動、マウスやキーボードの操作、データの保存等）ができる

### ■学習時間の目安

(※1)  
70 時間

(※2)

### ★この資格で学んだ知識やスキルが役立つと思われる職種(例)

IT の領域に関わる人全般（事務職、営業職等を含む）

ITSS 該当なし

※1：学習時間の目安は、教育訓練給付制度の Web サイト<sup>ix</sup>に掲載されている各講座の「訓練時間」を参考に記載した。以下同様。

※2：ITSS レベルについては、特定非営利活動法人スキル標準ユーザー協会「各スキル標準と認定試験・資格の関係（ISV Map Ver12.4）」に基づく。以下同様。

## 基本情報技術者試験

国家資格

情報処理技術者試験（国家資格）の 1 つで、IT エンジニアに必要とされる基礎知識・技能を測る試験。基礎レベルの資格だが、IT パスポート試験よりも難易度が高いとされる。

### ■学習内容

IT を活用したサービスやシステム等を作る際に必要とされる基本的な知識・技能

### ■学習に必要な前提知識等

IT についての基礎的な理解がある方が取り組みやすい。

### ■学習時間の目安

70 時間

### ★この資格で学んだ知識やスキルが役立つと思われる職種(例)

プログラマー、システムエンジニア、インフラエンジニア等

ITSS レベル 2

## MOS (Microsoft Office Specialist)

民間資格

Microsoft 社が認定する、同社製品 (Word, Excel, PowerPoint, Access, Outlook) の知識・操作スキルを客観的に証明する資格。各製品についてバージョンごとに試験科目が設定されており、Word 及び Excel については、一般レベルと上級レベル (エキスパート) が用意されている。

### ■ 学習内容

Microsoft Office 製品による資料作成やデータ分析等の知識・操作スキル

### ■ 学習に必要な前提知識等

パソコンの基本操作 (起動、マウスやキーボードの操作、データの保存等) ができる

### ■ 学習時間の目安

60-80 時間  
/ 1 科目

### ★この資格で学んだ知識やスキルが役立つと思われる職種 (例)

事務、経理、総務等、Microsoft Office を用いるあらゆる職種

ITSS 該当なし

## VBA エキスパート

民間資格

Microsoft Office 製品に搭載されているマクロ (操作を自動化する機能) と、VBA (Excel 等の Microsoft Office 製品で使われる、マクロを作るためのプログラミング言語) のスキルを証明する資格。Excel と Access のそれぞれについて、ベーシックとスタンダードの 2 レベルが用意されている。

### ■ 学習内容

Excel あるいは Access について、VBA を使ってマクロを作成・読解するスキル

### ■ 学習に必要な前提知識等

Excel の基本操作 (データ入力、書式設定、四則演算、データの保存等) ができる

### ■ 学習時間の目安

60 時間

### ★この資格で学んだ知識やスキルが役立つと思われる職種 (例)

総務・人事・経理職、営業・マーケティング職、製造管理職等

ITSS 該当なし



## Webクリエイター能力認定試験

民間資格

Webサイトの制作に必要な、HTML（Webサイトの構造を作るプログラミング言語）やCSS（Webサイトのデザインやレイアウトを作るプログラミング言語）等のスキルを証明する資格。スタンダード、エキスパートの2段階のレベルがある。

### ■学習内容

Webサイト制作のデザイン能力、プログラミング言語（HTML、CSS）を使ってコードを書く能力

### ■学習に必要な前提知識等

パソコンの基本操作（起動、マウスやキーボードの操作、データの保存等）ができる

■学習時間の目安  
60時間

### ★この資格で学んだ知識やスキルが役立つと思われる職種（例）

Webクリエイター、Webデザイナー、Webディレクター等

ITSS 該当なし

## HTML5 プロフェッショナル認定試験レベル1

民間資格

HTML5（Webサイトを作るための言語）を活用してWebサイトやアプリケーションを作るために必要な知識やスキルを認定する資格。レベル1とレベル2があり、レベル1ではWebコンテンツ制作の基礎の実力を測る。

### ■学習内容

Webの基礎、CSSやHTMLによるコードの書き方、多様なデバイスへの対応、API（※）の知識

### ■学習に必要な前提知識等

Web制作やプログラミングの経験がある

■学習時間の目安  
40時間

### ★この資格で学んだ知識やスキルが役立つと思われる職種（例）

Webデザイナー、プログラマー、コーダー、アプリケーション開発者等

ITSS レベル2

※ API：ソフトウェアやアプリケーションの機能を連携する仕組み

## Photoshop クリエイター能力認定試験

民間資格

Photoshop（アドビ社の画像編集ツール）の活用能力を測定する試験。

### ■学習内容

画像編集技術に関する知識、  
Photoshop を使ってコンテンツ  
を制作する能力

### ■学習に必要な前提知識等

パソコンの基本操作（起  
動、マウスやキーボードの  
操作、データの保存等）が  
できる

■学習時  
間の目安  
50 時間

### ★この資格で学んだ知識やスキルが役立つと思われる職種（例）

グラフィックデザイナー、WEB デザイナー、WEB ディレクター等

ITSS 該当なし

## Illustrator クリエイター能力認定試験

民間資格

Illustrator（アドビ社のデザインツール）の活用能力を測定する試験。

### ■学習内容

文書をデザインする技術に関す  
る知識、Illustrator を使って  
コンテンツを制作する能力

### ■学習に必要な前提知識等

パソコンの基本操作（起  
動、マウスやキーボードの  
操作、データの保存等）が  
できる

■学習時  
間の目安  
50 時間

### ★この資格で学んだ知識やスキルが役立つと思われる職種（例）

グラフィックデザイナー、WEB デザイナー、WEB ディレクター等

ITSS 該当なし

- 次の LPIC-1、OCJP Silver SE、CCNA は、インフラエンジニア、クラウドエンジニア、システムエンジニア等の仕事をしていく上では有用な資格です。ただし、ネットワーク、クラウド、プログラミングの基本知識がない場合、学習の難易度が高くなります。未経験から IT エンジニアを志望する方は、基礎レベルの仕事から始めて、実務経験を積みながらこれらの資格を取得し、キャリアアップを目指していくという方法もあります。

## LPIC-1

民間資格

LPI (Linux Professional Institute) 認定資格の 1 つで、Linux (サーバーを構築するソフトウェアの 1 つ) を扱う知識やスキルを認定する試験。なお、LPIC-1 よりもハイレベルな試験として LPIC-2、LPIC-3 もある。

### ■ 学習内容

Linux のインストール方法・基本操作の知識や、システム構築・管理の能力

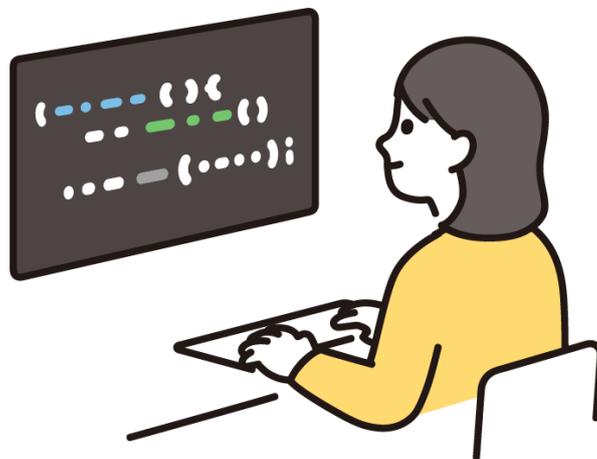
### ■ 学習に必要な前提知識等

IT 全般の基本知識があること。ネットワーク、クラウドの基本知識がある方が学習しやすい

■ 学習時間の目安  
60 時間

★この資格で学んだ知識やスキルが役立つと思われる職種(例)  
インフラエンジニア、クラウドエンジニア等

ITSS レベル 1



## OCJP (Oracle Certified Java Programmer) Silver SE

民間資格

オラクル認定資格（オラクル社製品に関する専門知識を証明する資格）の1つで、Java（システム開発に使うプログラミング言語）に関する知識・スキルを認定する資格。Bronze、Silver、Goldの3レベルがあり、最も難易度が高いのはGold。Silverは、開発初心者向けの学習内容となっている。

### ■学習内容

Java を利用したアプリケーション開発に必要とされる、基本的なプログラミング知識

### ■学習に必要な前提知識等

プログラミングの基本知識を有すること

### ■学習時間

の目安  
60時間

★この資格で学んだ知識やスキルが役立つと思われる職種(例)

プログラマー、システムエンジニア等

ITSS レベル 1

## CCNA (Cisco Certified Network Associate)

民間資格

シスコ技術者認定資格（シスコシステムズ社製品を扱う技術・知識を証明する資格）の1つで、ネットワークエンジニア（快適な通信環境を作るため、コンピューターネットワークの構築・保守・管理を行うエンジニア）の入門資格。

### ■学習内容

ネットワークの基礎、IP サービス（通信の仕組み、通信方式の設定）、セキュリティ、ネットワーク管理の自動化等の知識

### ■学習に必要な前提知識等

IT全般の基本知識があること。シスコシステムズ社の製品に関する知識を問われるため、製品を使った経験がある方が学習しやすい

### ■学習時間

の目安  
60時間

★この資格で学んだ知識やスキルが役立つと思われる職種(例)

ネットワークエンジニア、カスタマーサポート等

ITSS レベル 2

奥進システムは、システム開発やHP制作を行う会社で、障害のある社員やひとり親の社員が在宅ワークで活躍しています。



## コラム：システム開発会社における誰もが働きやすい環境づくり (有限会社奥進システム)

### ■会社の概要

- 有限会社奥進システムは従業員10名の小さな会社で、主に中小企業向けのシステム開発とホームページの制作・保守を行っています。顧客の悩みや課題に寄り添い、各社の業務に密着した、オーダーメイド型のシステム開発を特徴としています。
- 誰にとっても働きやすい社会を目指し、子育てや体力的・精神的な事情で出社が困難な社員に対して、在宅勤務を活用した働き方を積極的に推進しています。そうした取組が評価され、障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度や、テレワークの表彰など、官公庁や自治体から様々な認定・表彰を受けています。

### ■「在宅勤務」「残業ゼロ」など、働きやすい環境づくり

- 2000年の設立当時から、身体障害のある社員やひとり親の社員が週1~2日、在宅勤務制度を活用していました。新型コロナウイルス感染症が拡大した2020年以降は、ほぼ全社員が在宅勤務をしており、出社頻度は週2日程度となっています。働きやすい環境づくりとして「残業ゼロ」にも取り組んでいます。

### ■システム開発、ホームページ制作、営業の概要と求められるスキル

- システム開発の仕事は、末端のプログラマーから上流の設計の仕事まで幅広い業務があります。ただ、いきなり設計を担当することは少なく、まずはプログラマーになるための訓練を行い、そこからキャリアアップしていくことが多いです。プログラムにはバグ（不具合、間違い）がつきものなので、それを一つ一つ直していく忍耐力も求められます。
- ホームページ制作は、コードを書いてからブラウザで確認すれば、どんなページができたか見ることができます。システム開発はコードを書いてもそれがどのように動くのか、すぐには確認できないため、この点は大きく異なると言えます。
- 営業は顧客と会社（技術）の橋渡し役として、コミュニケーション力が求められます。さらにレベルが上がると顧客に提案を行うことや、自社システムで開発可能か見極める力なども必要になるため、ITの知識・経験を一定有していることが望ましいでしょう。
- ホームページ制作は未経験者でも比較的早く活躍できるようになるのに対し、システムとその営業の場合は、企業の現場で経験を積むことが重要です。ひとり親の方等がシステム開発への就職を目指す場合は、職業訓練でシステム開発の実績を作っておくことも考えられます。
- 入社に際しては、当社の場合、基本的にはExcelとPowerPointが使えれば大丈夫ですが、それ以外に基礎レベルのIT資格（ITパスポート試験や、ホームページ制作であればPhotoshop、Illustrator等の資格）があればスキルの証明になることがあります。

### (3) 高等職業訓練促進給付金の対象になる資格

- 高等職業訓練促進給付金は、ひとり親の方が就職に向けて必要な資格を取得する場合に、資格の養成訓練受講期間（修業期間）の生活費として給付金を支給する制度です。
- 対象となるのは、資格取得に向けた講座のうち、6か月以上の期間で組まれているもので、かつ自治体が就職につながるとして指定をしているものです。同じ資格であっても、養成校によって講座期間は異なりますし、指定の判断も自治体により異なりますので、養成校及び自治体に確認が必要です。

#### <高等職業訓練促進給付金の概要>

制度の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 修業期間中、月額 10 万円（住民税課税世帯は月額 70,500 円）の生活費が支給される。</li> <li>・ 訓練を受けている期間の最後の 1 年間は支給額が 4 万円増額される。</li> <li>・ 訓練修了後、5 万円を支給（住民税課税世帯は 25,000 円）</li> </ul>
対象資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 就職を容易にするために必要な資格として自治体が定めるもので、養成機関において 6 か月以上修業するもの。（具体例は下の「参考データ」参照）</li> </ul>
制度の対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養成機関での修業を開始した日以後・修業を修了した日において、次の要件を満たすひとり親。             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 児童扶養手当の支給を受けている者と同等の所得水準(※)にある。 ※所得制限水準を超過した場合であっても、1年に限り引き続き対象者とする</li> <li>(2) 対象資格を取得するため、養成機関において 6 か月以上のカリキュラムを修業し、対象資格の取得が見込まれる者等。</li> <li>(3) 就業又は育児と修業の両立が困難であると認められる者。</li> </ol> </li> </ul>



#### 参考データ

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（2024）の調査では、自治体が高等職業訓練促進給付金の対象に指定している IT 資格・講座の例として以下のようなものがありました。

- Microsoft Office Specialist (MOS)
- 基本情報技術者試験
- Web 制作やデザイン制作関係の資格・講座（Web クリエイター能力認定試験、Illustrator クリエイター能力認定試験、Photoshop クリエイター能力認定試験 等）
- ベンダー資格(※)（LPI 認定資格、シスコ技術者認定資格 等）
- IoT 関連資格・講座（IoT エンジニアの資格等）
- 第四次産業革命スキル習得講座（AI エンジニア育成の講座等）

※ベンダー資格とは、IT 関連の製品を製造・販売する企業（ベンダー）が、製品を扱うスキルを認証する資格のことです。

- なお、高等職業訓練促進給付金の他にも、資格取得を支援する給付金制度がいくつかあります。高等職業訓練促進給付金の対象とならない資格でも、他の給付金制度の対象となっている場合があります。
- また、**高等職業訓練促進給付金は生涯に一度しか利用ができない制度です**。例えば、試しに基礎レベルの IT 資格を取得し、IT の勉強が自分に向いていればハイレベルな IT 資格も取得したいと考えている場合は、まずは他の給付金制度を活用して基礎レベルの IT 資格を取得し、ハイレベルな IT 資格を取得する際に高等職業訓練促進給付金を活用するという方法もあります。

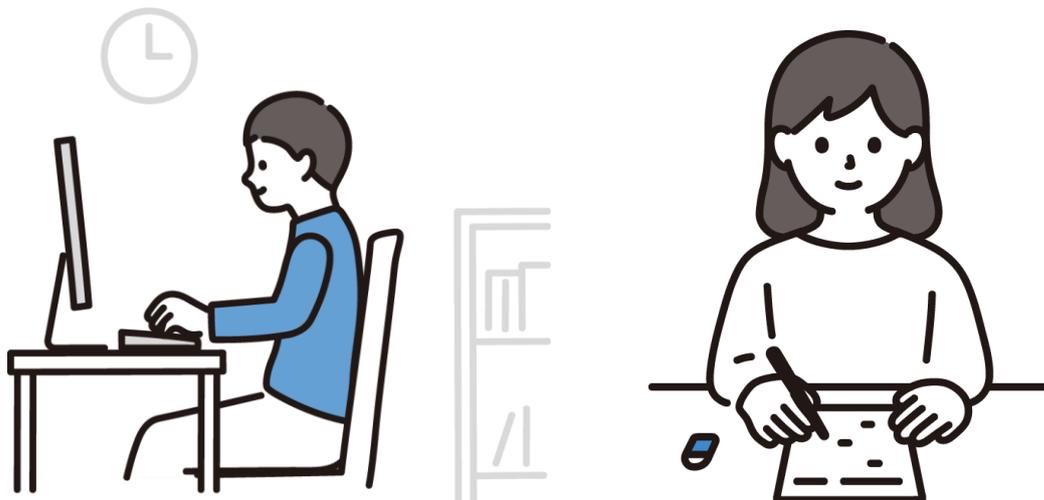
＜資格取得を支援するその他の給付金制度（主な例）＞

	自立支援教育訓練給付金	教育訓練給付金（※）		
		一般教育訓練給付金	特定一般教育訓練給付金	専門実践教育訓練給付金
概要	ひとり親が教育訓練給付金の指定講座等を修了した場合に、その経費の 60%を支給  また、専門実践教育訓練給付の対象となる講座を受講し、修了後 1 年以内に資格取得し、就職等した場合にはその経費の 85%を支給	厚生労働大臣の指定を受けた教育訓練を修了した場合に、その費用の 20%を支給	厚生労働大臣の指定を受けた教育訓練を修了した場合に、その費用の 40%を支給  また、資格取得し、1 年以内に雇用された場合、受講費用の 10%を追加支給	厚生労働大臣の指定を受けた教育訓練を受講する場合に、6 か月ごとに、経費の 50%を支給  また、資格取得し、1 年以内に雇用された場合、受講費用の 20%を追加支給  さらに、賃金が受講開始前より 5%上昇した場合、受講費用の 10%を追加支給
対象資格	一般教育訓練給付、特定一般教育訓練給付、専門実践教育訓練給付の対象講座 など	右記以外で雇用の安定・就職の促進に資する教育訓練	特に労働者の速やかな再就職及び早期のキャリア形成に資する教育訓練	特に労働者の中長期的キャリア形成に資する教育訓練
備考	高等職業訓練促進給付金との併用も可能			

※教育訓練給付金の対象者は、一定の条件を満たす雇用保険の被保険者または被保険者です。自分に受給資格があるかどうか、ハローワークに確認が必要です。

## (4) 学習体制を確保する

- 修業期間中は子育てや仕事もある中で学習を行いますので、修業開始前と比べて、時間的・体力的・精神的にハードな生活となることが予想されます。思い切って養成講座に申込みをしたけれど、仕事や育児に日々疲れている中、勉強時間が確保できずに挫折してしまうとなれば、せっかくかけたお金や時間が無駄になり、後悔してしまうかもしれません。
- 資格取得に向けた修業を決める前に、まずは学習する内容や難易度、資格取得までに必要な学習時間を把握し、その学習時間を確保する場合の 1 日のスケジュールを書き出してみることをおすすめします。そして、そのスケジュールでの生活を成り立たせるために、どのような体制を整える必要があるか、考えてみましょう。
- 例えば、小さなお子さんを育てている場合、養成校の授業を受けている間や、土日等に自習をする間、保育所等の預かりサービスを利用するか、親族からの育児サポートを受けられることが前提になると思います。また、仕事を持っている方の場合は、学習時間を確保するため仕事のシフトを調整してもらうなど、職場の理解を得る必要が生じるかもしれません。
- 学習を行うために必要な環境を整備し、万全な体制で学習を始めることができれば、目標とする資格を取得できる可能性が高まります。また、もしも今すぐには環境を整えることが難しい場合は、例えば 1 年後に修業を開始できるように 1 年かけて準備を行うなど、別の可能性を検討してみてください。



## 7. IT を使って活躍するひとり親の事例

- 最後に、IT を活用した仕事で活躍しているひとり親 6 名の事例を御紹介します。
- うち 5 名 (A~E さん) は、最近、高等職業訓練促進給付金を利用して IT 資格を取得し、現在はその資格を生かしてお仕事をされている方です。
- もう 1 名 (F さん) は、10 年ほど前に業務未経験から Web デザインの勉強をして IT 業界に入り、現在は UX デザイナーとして活躍されている方です。高等職業訓練促進給付金の利用はないケースですが、IT 業界で長期的にキャリアを築かれている事例として参考になると思います。

### <ヒアリングに御協力いただいたひとり親のリスト>

本資料内での仮名	年代	こどもの人数等	高等職業訓練促進給付金を活用して取得した資格	左の資格の取得時期	現在の仕事	雇用形態
A さん	40 代	高校生 2 人	Microsoft Office Specialist 2019 エキスパート	令和 4 年度	コールセンター	非正社員
B さん	30 代	未就学児 2 人	Web クリエイター能力認定試験 エキスパート	令和 6 年度	UI/UX デザイナー	正社員
C さん	20 代	小学生 1 人	VBA エキスパート (Excel VBA Standard)	令和 6 年度	製造業の業務改善	正社員
D さん	30 代	未就学児 1 人	Web クリエイター能力認定試験スタンダード	令和 4 年度	IT 企業の人材開発部	正社員
E さん	50 代	高校生を含む複数	Microsoft Office Specialist 2019 エキスパート	令和 5 年度	教育関係の事務職	期間業務社員
F さん	30 代	大学生と高校生	※高等職業訓練促進給付金の利用なし	—	UX デザイナー	正社員

## コールセンターでシステム開発補助に携わる A さん

### プロフィール

コールセンターに勤務。現在 40 代で、高校 3 年生と高校 1 年生のこどもがいる。ひとり親になった後、子育てと両立しやすい仕事を探し、現在の勤務先に就職。高等職業訓練促進給付金を利用して Microsoft Office Specialist 2019 エキスパートを取得。

### これまでのキャリア

コールセンターに入社し、オペレーター業務（電話対応）に従事。

現在の勤務先で役職を上げるには枠が少なく、難しいと思っていたため、転職のために資格取得を検討。

Word や Excel の基本操作を習得するため、高等職業訓練促進給付金を利用して講座を受講し、Microsoft Office Specialist 2019 エキスパートの資格を取得。

勤務先の上司（マネージャー）との定期面談において資格取得を伝えたところ、その努力を評価され、上の役職を打診される。

役職が上がり、コールセンターの新人指導・研修の担当や、オペレーターが対応する画面を改良するシステム開発補助に従事。

こどもが病気のときなどに代替できる、融通が利きやすい仕事としてコールセンターを選びました。

マネージャーに資格取得のために勉強していることを話したことがきっかけとなり、新しい仕事も任せてもらえるようになりました。

### 現在の仕事について

#### <仕事内容>

コールセンターのオペレーター社員として、新人指導・研修、オペレーターが対応する際の画面の改良などの業務に従事。電話回線が混み合っている際は、オペレーター業務（電話対応）に一部当たることもある。

#### <働き方など>

非正社員。現在、週 5 日勤務で残業は 1 か月に 1 回程度。入社当時は週 4 日勤務で残業もなかったが、役職が上がったタイミングで会社から週 5 日勤務を打診された。

役職が上がったことで時給がアップし、手当も出るようになりました。ゆくゆくは正社員を目指したいです。

## IT 資格の取得について(高等職業訓練促進給付金を利用)

### 資格名／取得時期

Microsoft Office Specialist 2019 エキスパート／令和4年度

### 資格を取得しようと思ったきっかけ

現在の勤務先で役職を上げることは難しいと考え、転職のために働きながら資格を取得することにした。元々ITやパソコンに触れた経験はあったが、Word、Excelによる資料作成等は難しかったため、パソコンの基本操作を習得しようと考えた。

### 修業中の状況

資格の勉強をしていた頃は週4日勤務であったため、週に2日、仕事がない日にパソコン講座に通った。仕事をしながらではあったが、講座の先生は教え方が上手で、大人になってから学ぶのはこんなにも楽しいのかと感じた。当時中学生と高校生だったこども達も家事を手伝ってくれ、特に両立が大変だと思うこともなかった。

### 資格を取得して良かったこと

講座を受けて資格取得に挑戦し、成し遂げたという気持ちが自分の自信につながったということが大きく、資格を取得して良かったと感じている。また、資格取得がきっかけとなって勤務先で新しい仕事も任せてもらえるようになったり、自分のできることが増えていったりすることも嬉しかった。何年も同じ仕事をするより、自身が成長できる方が仕事もやりがいがある。資格取得のために学んだ知識は業務で直接活用できているわけではないが、パソコンの操作方法・考え方などは参考になっている。

### 今後の意向・取り組みたいことなど

まだまだ力量不足ではあるが、システム開発の補助から、今後は開発の担当として業務を担いたい。また、現在の雇用形態は非正社員のため、正社員を目指したい。

### ITを活用した仕事を考えているひとり親の方へのメッセージ

こどものためにお金をかけるだけでなく、親自身が自分を磨いていくことも大事だと思います。こども2人も資格取得を応援してくれましたが、親が頑張る姿を見せることは、こどもに対しても良い影響があると思います。

## UI/UX デザイナーとして画面構築に携わる B さん

### プロフィール

IT 企業に勤める UI/UX デザイナー。現在 30 代で、保育所に通うこどもが 2 人いる。ひとり親になった後、高等職業訓練促進給付金を利用して Web クリエイター能力認定試験エキスパートを取得。未経験から IT 業界へ転職した。

### これまでのキャリア

大学でプロダクトデザインを専攻。卒業後はデザインから離れ、飲食業の企業に就職。パソコンの基本操作はできたが、職場ではパソコンを使用したことがなかった。

出産後に短時間勤務をしていた中、ひとり親になる。前職ではこどもが発熱した際に代替りのスタッフを見つける必要があり、急な休暇取得が難しかった。育児のため夜間に働くことができず、給与面も厳しいため、転職しようとする。

在宅勤務可能かつ大学で学んだデザインの知識を生かせる仕事を探していたところ、Web デザイナーについて知る。

高等職業訓練促進給付金等を利用して講座を受講し、Web クリエイター能力認定試験エキスパートを取得。

中長期的なキャリアも考えた上で、UI/UX デザイナーとして転職。現在 1 年目。

保育所が休みである祝日も有給休暇を取得する必要があり、仕事と育児の両立が難しい状況でした。

これからも現在の会社でキャリアを築いていきたいと思っています。まずはチームの一員として、自分の意見を出せるようになりたいです。

### 現在の仕事について

#### <仕事内容>

システム開発の画面の UI をデザインしている。構造担当、デザイン担当等で構成されるプロジェクトチームの一員として働いている。

#### <働き方など>

正社員。在宅勤務やフレックスタイム制を利用し、週 5 日フルタイムで勤務している。入社日数は決まっておらず、柔軟な働き方が可能。早朝からの勤務や、中抜けを利用して、こどもの通院の付添いや見守りをするができる。

柔軟な働き方が可能な会社に転職できたことで、仕事と育児の両立がかなえられています。

## IT 資格の取得について(高等職業訓練促進給付金を利用)

### 資格名/取得時期

Web クリエイター能力認定試験 エキスパート/令和6年度

### 資格を取得しようと思ったきっかけ

在宅勤務が可能で、デザインに携わることができる転職先を調べていた中で、Web デザイナーという職種を知った。また、パソコンスクールのカウンセリングや自治体職員との面談で、様々な給付金について情報提供を受けたことで、給付金を活用して資格を取得することにした。

### 修業中の状況

講座は本来1年間のカリキュラムであったが、早く転職をしたいという思いから速めのペースで履修を進め、9か月で受講を完了。その後1か月の自主勉強を経て、資格を取得した。修業期間中は週5日の仕事を週4日に変更し、1日を勉強に充てていた。

### 資格を取得して良かったこと

資格の取得を通じて、Web サイトの構築に使われる言語 (HTML、CSS、JavaScript) など、仕事において前提とされる知識を学ぶことができた。転職後は、講座で学んだ知識をベースとしながら、実務で求められる技術を勉強している。

### IT を活用した仕事を考えているひとり親の方へのメッセージ

将来なりたい姿や中長期的なキャリアについて考えた上で、それがかなう仕事を選択することが重要だと思います。その際、職種名だけで判断しないこともポイントです。例えばWeb デザイナーの中には、静的画面 (いつも同じ内容が表示される画面) を作る人と、動的画面 (閲覧する人や時間などによって表示される内容が変わる画面) を作る人がいます。どのような仕事があるのか、その仕事のキャリアステップはどんなものかを調べ、自分のゴール像に合った仕事を選んでみてください。

## 製造業で IT による業務効率化に奮闘する C さん

### プロフィール

自動車製造工場に勤める事務職として、生産管理の業務に従事している。高校卒業後、現在の会社に入社し、出産後も就業を継続。現在 20 代で、小学生のこどもがいる。高等職業訓練促進給付金を利用して、VBA エキスパート (Excel VBA Standard) の資格を取得。

### これまでのキャリア

高校卒業後、現在の勤務先に就職。入社後は事務職として生産管理の業務に従事。20 歳で出産し、育児休業を約 1 年半取得して復職。

ひとり親になった後、社内の生産管理システムの開発プロジェクトに主担当として参画。同プロジェクトに参画していた社外のシステムエンジニアの方からパソコンの基礎を学び、IT を活用した業務改善に関心を持つ。

IT スキル向上のため、社内で受講できる 1 日研修などに参加するものの、実践的なスキル習得には至らないと物足りなさを感じる。

市から案内のあった高等職業訓練促進給付金を利用して講座を受講し、VBA エキスパート (Excel VBA Standard) の資格を取得。

マクロを使って職場の業務改善に取り組む。周囲の社員が抱える困りごとや改善要望に応じてマクロを作成し、よりよい業務の流れを検討。

当時は配偶者の両親と同居しており、子育てのサポートがありました。

当時は注文書をパソコンに手入力していましたが、ミスの原因になるためやめたいと思っていました。

「マクロ」とは、業務における一連の動作を自動化するプログラムです。

### 現在の仕事について

#### <仕事内容>

自動車のプラスチック部品の製造工場で、生産管理の業務に携わっている。毎月顧客から届く大量の注文書について、データ入力・チェックを行い、生産現場の稼働計画を作成するなどの事務作業が中心。

#### <働き方など>

正社員。月曜～金曜の週 5 日、8 時～17 時のフルタイム勤務。テレワークは全社的に未導入。

自身の母、祖父母と同居しており、こどもの世話などは日常的なサポートを受けています。

## IT 資格の取得について(高等職業訓練促進給付金を利用)

### 資格名/取得時期

VBA エキスパート (Excel VBA Standard) / 令和 6 年度

### 資格を取得しようと思ったきっかけ

IT を活用して業務改善に取り組むため、必要なスキルを身につけたいと考えていたところ、市役所から高等職業訓練促進給付金のチラシが自宅に届き、給付金を活用して資格を取得することにした。

### 修業中の状況

自宅から 40 分程度のスクールに通学することも検討したが、往復の移動時間(受講時間と合わせて 1 回 3 時間程度)を考えると負担が大きかったため、オンライン受講とした。週 3 回、19~20 時に勉強するという生活をほぼ 7 か月間続け、資格を取得。当初はオンラインで学習を継続できるか不安だったが、毎回講師が変わり教え方が上手な先生がいたり、特定の知識に詳しい先生がいたり、楽しんで受講することができた。

### 資格を取得して良かったこと

マクロを活用して職場の業務効率化・簡素化に役立てることができている。かつては手書きの業務プロセスをデジタル化することに抵抗のある社員もいたが、社内も顧客もデジタル化に対応せざるを得ない環境になってきた。資格を取得し、IT 関連の業務に力を入れてきたため、周囲から頼ってもらえる場面が増えたと感じる。

### 今後の意向・取り組みたいことなど

今後は Illustrator や Photoshop など学び、展示会に出展する際のブースデザインやチラシ作成なども手掛けてみたい。これまで誰もやらなかった新しいことに挑戦する人、一番手を担える人材でいたいと思っている。

### IT を活用した仕事を考えているひとり親の方へのメッセージ

資格を取得したことで、自分の努力が周囲の方に認められ、自信につながりました。最初は無理かもしれないと思っても、1 つのことが達成できると、他のことにも挑戦してみようという気持ちが湧いてきます。「資格を取得する」と決めて勇気を出せば、何らか次につながる良い変化が起きると思います。

## IT 企業のエンジニア→人事関係部署で活躍する D さん

### プロフィール

IT 企業の人事関係部署で、社員の管理・サポートを行う。現在 30 代で、保育所に通うこどもがいる。医療系の仕事に従事していたが、子育ての両立等を考えて、高等職業訓練促進給付金を利用して Web クリエイター能力認定試験スタンダードを取得。IT 業界へ転職した。

### これまでのキャリア

コロナ禍に医療系の業務に従事していたが、体力面で時短勤務でないと子育てが難しいこと、こどもへの感染リスク等を考慮して、転職を決意。

↓

高等職業訓練促進給付金等を利用して講座を受講し、Web クリエイター能力認定試験スタンダードを取得。

↓

システムソリューションの事業を行う IT 企業に転職。入社後 1 年間は、エンジニアとして顧客企業で常駐勤務を行う。

↓

エンジニア業務は勤務時間が長く、子育ての両立が難しかったため、上司に相談。企業内で勤務できる人事関係部署に異動。

↓

現在は、人事関係部署で、エンジニアの経験を生かしながら、顧客企業に常駐勤務している社員の管理やメンタルケア等を担当している。

転職先の選定では、様々な経験が積めること、ホームページが魅力的なこと、育成のカリキュラムがあること等も考慮しました。

エンジニア時代はこどもとの時間が取れなかったため、会社に相談してテレワークもできる部署に異動しました。

### 現在の仕事について

#### <仕事内容>

常駐勤務を行う社員は会社の目が届かないところで仕事をしているので、社員の勤務状況等をオンライン又は対面で確認し、社員が働きやすい環境整備やサポートに取り組む。社員との対話や新入社員のサポートでは、エンジニアとしての勤務経験や IT 知識が生かされている。

#### <働き方など>

正社員。週 5 日勤務で、出社とリモートは半々。年収は約 330 万円。テレワークで朝が少しゆっくりできるようになり、こどもの表情が明るくなり、よく話すようになった。

#### 用語解説:

「常駐勤務」とは、顧客企業のオフィスに出勤して働くことです。

こどものお迎えと夕食は、近隣に住む親族に協力してもらいながら両立しています。

## IT 資格の取得について(高等職業訓練促進給付金を利用)

### 資格名／取得時期

Web クリエイター能力認定試験スタンダード／令和4年度

### 資格を取得しようと思ったきっかけ

資格取得を目指すタイミングでは、Web デザイナー志望だったので、この資格が有利だろうと思いで取得した。

### 修業中の状況

ものづくりが好きのため、修業時の講義は楽しんで取り組めた。給付金を受ける前に独学で勉強していた時は苦戦していたが、体系化されたカリキュラムで学習できたことが良かった。なお、受講中は実家に住み、育児のサポートを受けていた。そうでなければ学習に遅れを取っていたように思う。実家のサポートもあったので、6か月のコースを4か月で修了し、5か月目からはポートフォリオ作成、6か月目は就職活動、というスケジュールを立てて実行した。

### 資格を取得して良かったこと

エンジニアとしての初めての常駐先が、資格取得で学んだコードを使っていたため、スムーズに対応できた。その他の常駐先でも応用したコードの使用が多く、IT 関係の業務の登竜門として資格を取得して良かったと感じた。また、ホームページ作成と機器の画面作成は全く別物のように見えていたが、同じ「画面作成」であり、Web 系の資格は応用が利いた。想像よりも選択肢は広いように感じている。

通常の未経験者採用は、半年間のカリキュラムを修了した人からエンジニアとして客先に常駐するシステムになっている。この半年は給与が低く抑えられるが、資格があることで、経験者採用となり、転職後すぐに常駐で正社員として勤務できた。

### IT を活用した仕事を考えているひとり親の方へのメッセージ

資格取得をするか悩んでいる人もいますが、悩むよりもまずやってみた方が後悔はないです。

また、知識をアウトプットした経験(制作経験)は、就職や実際の勤務でも役に立ちます。修学期間中には自主的にポートフォリオ作成に取り組むことをおすすめします!

## 50代で資格取得し、教育関係の事務職として活躍する E さん

### プロフィール

学校のサテライト施設で事務職として勤めつつ、高校生を含む複数名の子どもを育てる。50代でひとり親になった後、これまでのキャリアを生かした転職を目指し、高等職業訓練促進給付金を利用して Microsoft Office Specialist 2019 エキスパート (Excel) を取得。

### これまでのキャリア

就職氷河期で就職先を選ぶことが難しい環境にあった中、最初に入社して配属になったのが経理だった。自分にあっていたのでそのまま経理・総務関係に従事していた。

シングルマザーになり、生活を支える立場となる。これまでのキャリアを生かして、経理や総務などの事務職での年収アップを目指して転職を志す。

資格取得後の転職活動では就職時期の見通しが立たないため、高等職業訓練促進給付金の受給期間で就職できるように計画を立てる。事務職を念頭に、Microsoft Office Specialist 2019 エキスパート (Excel) を学びつつ、並行して転職活動にも取り組む。

修業中に転職先が決定。転職後も勉強を続けて、資格取得に至る。

学校のサテライト施設で事務職として働く。資格取得で得られたスキルで効率的に業務を行えている。

ITの知識が全くないわけでもないのに、両立してでもやってやるという気持ちでした。

IT資格＝プログラミングのイメージでしたが、Excelの資格があるとわかり、チャレンジしました。

歳を重ねたらICT支援員になることも考え中です。

### 現在の仕事について

#### <仕事内容>

学校のサテライト施設で、事務、経理等を担当。支払や予算の管理、施設管理、学生対応など多岐の業務に携わる。経理のシステムが企業のように確立されていないため、Excelで予算管理を実施している。

#### <働き方など>

期間業務社員。週5日、フルタイム勤務。残業は平均的には10時間以内。

最近はExcelのグラフを活用した資料作成などにも取り組むことが増えています。

## IT 資格の取得について(高等職業訓練促進給付金を利用)

### 資格名／取得時期

Microsoft Office Specialist 2019 エキスパート (Excel) ／令和5年度

### 資格を取得しようと思ったきっかけ

経理や総務などの事務への転職先を見越して資格を取得した。50代で生活を支える必要がある状況で、未経験業務への挑戦はリスクがあるように感じ、これまでの職歴の延長線上にある業務を想定して資格を選んだ。なお、自治体の担当者から、IT資格について教えてもらったときは気が進まなかったが、Excelのコースについて情報提供を受け、自身でも情報収集する中で、これまで勉強する機会はなかったので給付金を利用してチャレンジしてみようと思うことができた。

### 修業中に大変だったこと

講座について、模試や一部のカリキュラムを自分のペースで繰り返し学習したいと思うことがあった。スクールを選ぶ際は、通いやすい環境や自分の希望する学習方法とマッチするか(自主学习か動画学習か、予約方法や補習の状況など)等の観点で、いくつか見て選ぶことが重要だと思う。

### 資格を取得して良かったこと

資格を取得したことで、自分にそんな力があつたのかと自信につながった。スクールには同じように勉強している色々な年代の人がいて、モチベーションもアップした。資格の勉強を通じて、それまでの業務で使用したことがなかったExcelの詳細な機能を知ることができ、自身の業務効率が上がったように感じる。また、資料作りが楽しく、今まで避けていた作業も難しくないと感じるようになった。

### ITを活用した仕事を考えているひとり親の方へのメッセージ

20~30代は「これから勉強すればいい」と言われても、50代では「何もできないのか」と言われることがあります。資格取得はスキルの証明になり、意味があることだと思います！

高等職業訓練促進給付金は自立した生活に向けて、就業で必要なスキルを身につけることができるので、難しいそうと敬遠せず、チャレンジしてほしいです。

## UX デザイナーとして DX 支援で活躍する F さん

### プロフィール

DX 支援の会社に勤める UX デザイナー。現在 30 代で、大学生と高校生のこどもがいる。20 代でひとり親になった後、未経験から IT 業界へ。また、高等学校卒業程度認定試験に合格。高等職業訓練促進給付金の利用経験なし。

### これまでのキャリア

10 数年前にひとり親になってすぐ、自費で Web デザインの学校に半年通い、Web の総合的なスキルを身につけた。

Web マーケティングの会社で、アルバイトとして SEO（検索エンジン最適化）などを担当。その後、同じ会社内の Web 制作の部署に異動し、ホームページ等のグラフィックのデザインを 4 年ほど担当。

フリーランスで Web デザインの仕事を 1~2 年続けた。また、フードコーディネーターの仕事を兼業。

Web デザイナーから UX デザイナーに方向転換し、Web マーケティングの会社に就職。インターネットバンキングの機能や使い勝手のデザインを担当。

DX 支援の会社に転職し、現在 2 年目。

当時は実家住まいで、両親から学費や子育てのサポートがありました。

自分にとって、よりやりがいや面白みを感じる仕事を考え、キャリアチェンジしました。

### 現在の仕事について

#### <仕事内容>

UX デザイナーとして、顧客（企業）が新規事業を考える際のユーザーリサーチ、ニーズの抽出、企画立案等の支援をしている。例えば、顧客がアプリケーションを開発又はリニューアルする場合、まずアプリケーションを使うのはどんなユーザーなのか、どのように使うのかを調査・分析する。その結果を基に、ユーザーが使いやすいサービス設計や全体のデザインを提案。

#### <働き方など>

正社員。週に数回入社（フルリモートも可）。残業もあるが働き方に無理はない。副業で大学の非常勤講師もしている。

企画やニーズ調査からデザイン設計まで、自分でアイデアを考えて実行できるのが、この仕事の魅力です。

年収について、UX 領域では、未経験でも 400 万円、シニアレベル以上では 1000 万円という人も多いです。

## こぼれ話

UXの道に進む場合、具体的にどのような仕事をしていくことになるのでしょうか。

Fさんの場合は、今の職場に採用されるまでに、以下のような業務実績を積んでいました。このような実績があるので即戦力として採用され、年収800万円からのスタートとなりました。

- Webデザインの基本業務（グラフィック、コーディング等）
- ユーザー調査（定性リサーチ）、マーケティング
- プロジェクトの計画立案、クライアントと交渉しながらのリサーチ実施
- インフォメーションアーキテクト（IA）、ユーザーインターフェース（UI）の設計

### 用語解説：

「ユーザー調査」では、ユーザーのニーズや意見を把握し、商品開発等に生かします。アンケート等による方法「定量リサーチ」、インタビュー等による方法を「定性リサーチ」と言います。

### 用語解説：

「IA」は、ユーザーに分かりやすい・探しやすいように情報を整理することです。

### 用語解説：

「UI」は、ユーザーがWebサービスやアプリケーションを使う際に操作する画面やボタン等のことです。

## ITを活用した仕事を考えているひとり親の方へのメッセージ

元々はITやデザインのバックグラウンドがなく、最初にWebデザインの道を選んだのにも、強い理由があったわけではありません。でも、今振り返ると、ITを活用した仕事はこの先も需要が高いですし、この道を選択して正解だったと思います。

## 参考

### ■ソフトウェアの商品名称について

Access、Excel、Outlook、PowerPoint、Windows Server	米国 Microsoft Corporation（マイクロソフト社）の米国およびその他の国における登録商標又は商標です。
Illustrator、Photoshop	Adobe Incorporated（アドビ社）の商標です。
Linux	Linus Torvalds 氏の登録商標又は商標です。
Microsoft Office	米国 Microsoft Corporation の商品名称です。
MySQL、Oracle Database	Oracle Corporation、その子会社及び関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
Word	この資料では、Microsoft Word（米国 Microsoft Corporation の商品名称）を指します。

<sup>i</sup> IPA「DX 動向 2024」, <https://www.ipa.go.jp/digital/chousa/dx-trend/eid2eo0000002cs5-att/dx-trend-2024.pdf>（2025 年 3 月 10 日閲覧）

<sup>ii</sup> 帝国データバンク「人手不足に対する企業の動向調査（2024 年 7 月）」『TDB Economic Online』, <https://www.tdb.co.jp/>（2025 年 3 月 24 日閲覧）

<sup>iii</sup> 文部科学省「令和 5 年度 ICT 支援員（情報通信技術支援員）の配置状況」

<sup>iv</sup> マイナビ中途採用・転職活動定点調査(2023 年 6 月), [https://career-research.mynavi.jp/research/20230731\\_55685/](https://career-research.mynavi.jp/research/20230731_55685/)（2025 年 3 月 10 日閲覧）

<sup>v</sup> 東郷こずえ（2024）「日本におけるリモートワークの現状、メリットとデメリットについて」マイナビキャリアリサーチ Lab, [https://career-research.mynavi.jp/column/20240802\\_83756/](https://career-research.mynavi.jp/column/20240802_83756/)（2025 年 3 月 10 日閲覧）

<sup>vi</sup> 一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会「フリーランス白書 2024」, <https://blog.freelance-jp.org/wp-content/uploads/2024/03/whitepaperFreelanceSurvey2024.pdf>（2025 年 3 月 3 日閲覧）

<sup>vii</sup> 三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング（2024）「ひとり親家庭等への支援に関する調査研究」令和 5 年度子ども・子育て支援等推進調査研究事業, [https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2024/04/koukai\\_240426\\_02\\_08.pdf](https://www.murc.jp/wp-content/uploads/2024/04/koukai_240426_02_08.pdf)（2025 年 3 月 31 日閲覧）

<sup>viii</sup> 独立行政法人情報処理推進機構（2012）IT 人材育成本部 IT スキル標準センター『IT スキル標準はやわかり』

<sup>ix</sup> 教育訓練給付制度 厚生労働大臣指定教育訓練講座, <https://www.kyufu.mhlw.go.jp/kensaku/>（2024 年 9 月 10 日閲覧）



